

平成 30 年度奄美市幸福度調査アンケート

— 調査結果報告書 —

平成 31 年 3 月

奄美市

目 次

I 調査概要

1. 調査の目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査方法	1
4. 調査期間	1
5. 回収数	1
6. 調査項目	2

II 調査結果

1. 回答者の属性	3
2. 集計結果	4
(1) 生活の満足度／あなたは日常生活に対して満足していますか？	4
(2) 将来への希望度／あなたは将来に希望を持っていますか？	5
(3) 結い度／あなたが困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいますか？	6
(4) 愛着度／あなたは奄美が好きですか？	7
(5) 教育環境の満足度／奄美は、子どもがいきいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思いますか？	8
(6) 医療・福祉環境の満足度／奄美は、高齢者がかかる医療機関や福祉が充実していると思いますか？	9
(7) 地産地消度／あなたは地元産の食材を食べた時に幸せだなと思いますか？	10
(8) 招待意向度／あなたは奄美に友人・知人を呼びたいと思いますか？	11
(9) おもてなし意向度／あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？	12
(10) 永住希望度／あなたは奄美に今後も住み続けたいですか？	13
(11) 各項目の比較	14
(12) 日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？	15
(13) 日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？	24
(14) テキストマイニングによる「幸せ」や「満足」と感じること、「不幸」や「不満」と感じることの分析	33
3. 奄美幸福度指数	36
(1) 奄美幸福度 DI	36
(2) レーダーチャート	37
4. 平成 28、29 年度との比較	38
(1) 生活の満足度／あなたは日常生活に対して満足していますか？	38
(2) 将来への希望度／あなたは将来に希望を持っていますか？	40
(3) 結い度／あなたが困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいますか？	42
(4) 愛着度／あなたは奄美が好きですか？	44
(5) 教育環境の満足度／奄美は、子どもがいきいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思いますか？	46
(6) 医療・福祉環境の満足度／奄美は、高齢者がかかる医療機関や福祉が充実していると思いますか？	48
(7) 地産地消度／あなたは地元産の食材を食べた時に幸せだなと思いますか？	50
(8) 招待意向度／あなたは奄美に友人・知人を呼びたいと思いますか？	52
(9) おもてなし意向度／あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？	54
(10) 永住希望度／あなたは奄美に今後も住み続けたいですか？	56

参考資料

アンケート調査票	58
----------	----

I 調査概要

平成 27 年 12 月に策定された「～しあわせの島へ～奄美市『攻め』の総合戦略（まち・ひと・しごと創生総合戦略）」の事業実施によって、島の目指すべき姿である「しあわせの島」に近づいているか、市民を対象としたアンケート調査を実施し、奄美幸福度指数（AHI：Amami Happiness Index）を算出した。

1. 調査の目的

- 奄美市では、平成 27 年 12 月に策定した「～しあわせの島へ～奄美市『攻め』の総合戦略（まち・ひと・しごと創生総合戦略）」において、島の目指すべき姿として「しあわせの島」を提示し「しあわせの島」の重要目標達成指標（KGI）は、住民がしあわせに暮らしていると実感している指数＝奄美幸福度指数（AHI：Amami Happiness Index）とした。
- 市民を対象としたアンケート調査を実施し、総合戦略の事業実施によって奄美が「しあわせの島」に近づいているか、奄美幸福度指数を算出し、その達成度を把握するとともに、事業の進捗状況及び見直しの基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査対象

- 15 歳以上の市民 2,000 人とし、性別・年代別・居住地区別の対象者数は以下のとおり。

〔性別・年代別・居住地区別 対象者数〕

年代	名瀬		住用			笠利			合計		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性		構成比	
15～19 歳	92	47	45	25	15	10	30	15	15	147	7.4%
20 歳代	129	65	64	30	15	15	30	15	15	189	9.5%
30 歳代	210	103	107	30	15	15	30	15	15	270	13.5%
40 歳代	221	111	110	30	15	15	31	15	16	282	14.1%
50 歳代	225	113	112	30	15	15	40	20	20	295	14.8%
60 歳代	243	120	123	30	15	15	60	32	28	333	16.7%
70 歳代	201	94	107	30	15	15	41	19	22	272	13.6%
80 歳以上	145	52	93	30	15	15	37	13	24	212	10.6%
合計	1,466	705	761	235	120	115	299	144	155	2,000	100.0%

※構成比は四捨五入をしているため、各年代の和と合計は一致しない。

3. 調査方法

- 郵送配布・郵送回収。

4. 調査期間

- 平成 30 年 8 月

5. 回収数

- 有効回答数：667 件（回収率：33.4%）

6. 調査項目

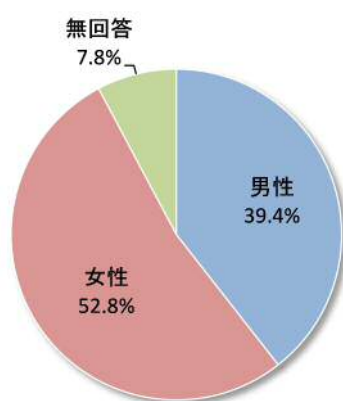
- 回答者の属性（性別、年代、居住地区）
- あなたは日常生活に対して満足していますか？
- あなたは将来に希望を持っていますか？
- あなたが困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいますか？
- あなたは奄美が好きですか？
- 奄美は、子どもがいきいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思いますか？
- 奄美は、高齢者がかかる医療機関や福祉が充実していると思いますか？
- あなたは地元産の食材を食べた時に幸せだと思いますか？
- あなたは奄美に友人・知人を呼びたいと思いますか？
- あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？
- あなたは奄美に今後も住み続けたいですか？
- 日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じる事
- 日々の生活で「不幸」または「不満」に感じる事

Ⅱ 調査結果

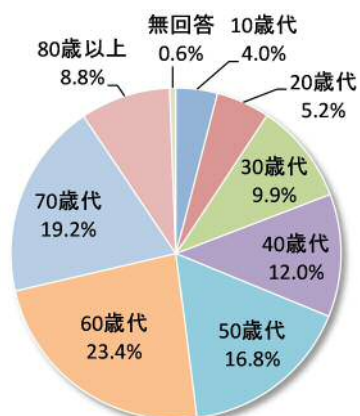
1. 回答者の属性

回答者 667 人の属性は、以下のとおりとなっている。

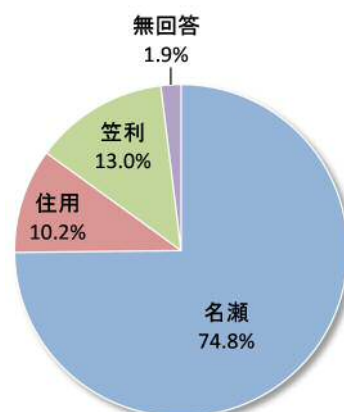
〔性別 N=667〕



〔年代 N=667〕



〔居住地区 N=667〕



2. 集計結果

(1) 生活の満足度／あなたは日常生活に対して満足していますか？

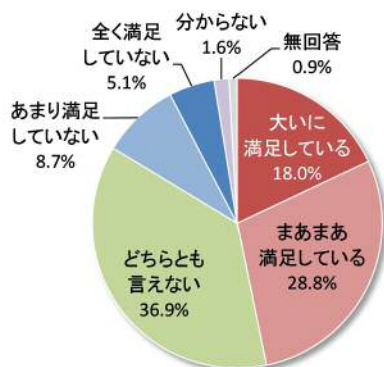
日常生活に対して満足しているか（生活の満足度）について、「どちらとも言えない」が36.9%で最も多く、次いで「まあまあ満足している」が28.8%の順となっている。『満足している（「大いに満足している」と「まあまあ満足している」の合計）』は46.8%で4割以上となっており、『満足していない（「あまり満足していない」と「全く満足していない」の合計）』の13.8%を上回っている。

これを属性別にみると、性別では、男女とも全体と同様に「どちらとも言えない」が最も多く、次いで「まあまあ満足している」となっているが、『満足している』は男性が44.1%なのに対し、女性は49.1%と男性に比べ多くなっている。

年代別では、20～30歳代と50～70歳代は全体と同様に「どちらとも言えない」、10歳代は「大いに満足している」、40歳代は「まあまあ満足している」と「どちらとも言えない」、80歳以上は「まあまあ満足している」が、それぞれ最も多くなっている。10歳代は『満足している』が77.7%と7割を超えている一方、20～30歳代は『満足していない』がそれぞれ25.7%、24.3%と2割以上となっている。

居住地区別では、どの地区とも全体と同様に「どちらとも言えない」がそれぞれ最も多く、地区で大きな違いは見られない。

〔生活の満足度／あなたは日常生活に対して満足していますか？ N=667〕



		大いに満足している	まあまあ満足している	どちらとも言えない	あまり満足していない	全く満足していない	分からない	無回答
性別	男性(N=263)	44 16.7%	72 27.4%	109 41.4%	18 6.8%	12 4.6%	6 2.3%	2 0.8%
	女性(N=352)	67 19.0%	106 30.1%	121 34.4%	33 9.4%	21 6.0%	3 0.9%	1 0.3%
年代別	10歳代(N=27)	12 44.4%	9 33.3%	5 18.5%	1 3.7%	-	-	-
	20歳代(N=35)	7 20.0%	9 25.7%	10 28.6%	5 14.3%	4 11.4%	-	-
	30歳代(N=66)	6 9.1%	19 28.8%	25 37.9%	11 16.7%	5 7.6%	-	-
	40歳代(N=80)	13 16.3%	27 33.8%	27 33.8%	10 12.5%	3 3.8%	-	-
	50歳代(N=112)	17 15.2%	32 28.6%	47 42.0%	10 8.9%	5 4.5%	1 0.9%	-
	60歳代(N=156)	25 16.0%	51 32.7%	60 38.5%	10 6.4%	7 4.5%	2 1.3%	1 0.6%
	70歳代(N=128)	29 22.7%	23 18.0%	57 44.5%	7 5.5%	7 5.5%	2 1.6%	3 2.3%
	80歳以上(N=59)	10 16.9%	22 37.3%	14 23.7%	3 5.1%	3 5.1%	5 8.5%	2 3.4%
	居住地区別	名瀬(N=499)	90 18.0%	148 29.7%	179 35.9%	47 9.4%	27 5.4%	4 0.8%
住用(N=68)		10 14.7%	20 29.4%	25 36.8%	5 7.4%	2 2.9%	6 8.8%	-
笠利(N=87)		20 23.0%	21 24.1%	38 43.7%	4 4.6%	4 4.6%	-	-

(2) 将来への希望度／あなたは将来に希望を持っていますか？

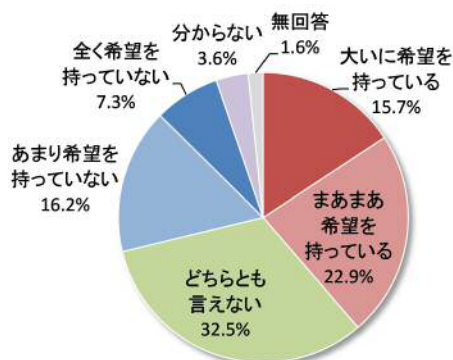
将来に希望を持っているか（将来への希望度）について、「どちらとも言えない」が32.5%で最も多く、次いで「まあまあ希望を持っている」が22.9%の順となっている。『希望を持っている（「大いに希望を持っている」と「まあまあ希望を持っている」の合計）』は38.6%と約4割となっている一方、『希望を持っていない（「あまり希望を持っていない」と「全く希望を持っていない」の合計）』も23.5%と2割以上見られる。

これを属性別にみると、性別では、男女とも全体と同様に「どちらとも言えない」が最も多く、次いで「まあまあ希望を持っている」となっているが、『希望を持っていない』は女性が20.8%なのに対し、男性は27.4%と女性に比べ多くなっている。

年代別では、20～70歳代は全体と同様に「どちらとも言えない」、10歳代は「大いに希望を持っている」と「まあまあ希望を持っている」、80歳以上は「あまり希望を持っていない」がそれぞれ最も多くなっている。40歳代は『希望を持っている』が48.8%と他年代に比べ多くなっている一方、80歳以上は『希望を持っていない』が35.6%と3割以上となっている。

居住地区別では、どの地区とも全体と同様に「どちらとも言えない」が最も多くなっている。住用は『希望を持っている』が41.1%と他地区に比べ多くなっている一方、名瀬は『希望を持っていない』が24.6%と2割以上となっている。

〔将来への希望度／あなたは将来に希望を持っていますか？ N=667〕



		大いに希望を持っている	まあまあ希望を持っている	どちらとも言えない	あまり希望を持っていない	全く希望を持っていない	分からない	無回答
性別	男性(N=263)	33 12.5%	62 23.6%	84 31.9%	48 18.3%	24 9.1%	7 2.7%	5 1.9%
	女性(N=352)	63 17.9%	85 24.1%	115 32.7%	51 14.5%	22 6.3%	13 3.7%	3 0.9%
年代別	10歳代(N=27)	11 40.7%	11 40.7%	1 3.7%	3 11.1%	-	1 3.7%	-
	20歳代(N=35)	5 14.3%	9 25.7%	14 40.0%	4 11.4%	1 2.9%	2 5.7%	-
	30歳代(N=66)	4 6.1%	21 31.8%	25 37.9%	8 12.1%	7 10.6%	1 1.5%	-
	40歳代(N=80)	18 22.5%	21 26.3%	22 27.5%	12 15.0%	6 7.5%	1 1.3%	-
	50歳代(N=112)	16 14.3%	24 21.4%	43 38.4%	22 19.6%	5 4.5%	2 1.8%	-
	60歳代(N=156)	19 12.2%	40 25.6%	48 30.8%	27 17.3%	12 7.7%	6 3.8%	4 2.6%
	70歳代(N=128)	24 18.8%	19 14.8%	49 38.3%	19 14.8%	9 7.0%	4 3.1%	4 3.1%
	80歳以上(N=59)	8 13.6%	8 13.6%	12 20.3%	13 22.0%	8 13.6%	7 11.9%	3 5.1%
	居住地区別	名瀬(N=499)	76 15.2%	121 24.2%	160 32.1%	86 17.2%	37 7.4%	12 2.4%
住用(N=68)		12 17.6%	16 23.5%	19 27.9%	12 17.6%	1 1.5%	7 10.3%	1 1.5%
笠利(N=87)		17 19.5%	16 18.4%	32 36.8%	7 8.0%	8 9.2%	5 5.7%	2 2.3%

(3) 結い度／あなたが困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいますか？

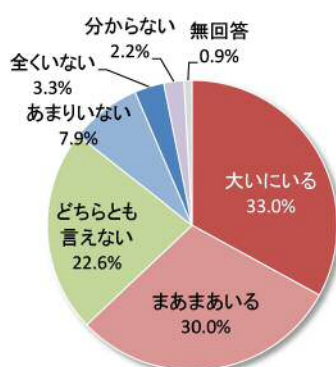
困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいるか(結い度)について、「大いにいる」が33.0%で最も多く、次いで「まあまあいる」が30.0%の順となっている。『いる(「大いにいる」と「まあまあいる」の合計)』は63.0%で6割以上となっており、『いない(「あまりいない」と「全くいない」の合計)』の11.2%を大きく上回っている。

これを属性別にみると、性別では、女性は全体と同様に「大いにいる」、男性は「まあまあいる」がそれぞれ最も多くなっている。『いる』は男性が58.1%なのに対し、女性は67.0%と男性に比べ多くなっている。

年代別では、10～20歳代と40歳代、70歳以上は全体と同様に「大いにいる」、30歳代と50～60歳代は「まあまあいる」がそれぞれ最も多くなっている。全ての年代で『いる』が5割を超えているが、特に20歳代は74.3%、10歳代は85.2%と他年代に比べ多くなっている。

居住地区別では、住用と笠利は全体と同様に「大いにいる」、名瀬は「まあまあいる」がそれぞれ最も多くなっている。笠利は『いる』が72.4%と7割を超え、他地区に比べ多くなっている。

〔結い度／あなたが困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいますか？ N=667〕



		大いにいる	まあまあいる	どちらとも言えない	あまりいない	全くいない	分からない	無回答
性別	男性(N=263)	69 26.2%	84 31.9%	70 26.6%	20 7.6%	11 4.2%	7 2.7%	2 0.8%
	女性(N=352)	132 37.5%	104 29.5%	71 20.2%	27 7.7%	9 2.6%	6 1.7%	3 0.9%
年代別	10歳代(N=27)	17 63.0%	6 22.2%	3 11.1%	1 3.7%	-	-	-
	20歳代(N=35)	16 45.7%	10 28.6%	6 17.1%	1 2.9%	1 2.9%	1 2.9%	-
	30歳代(N=66)	17 25.8%	26 39.4%	14 21.2%	7 10.6%	1 1.5%	-	1 1.5%
	40歳代(N=80)	24 30.0%	23 28.8%	18 22.5%	11 13.8%	2 2.5%	2 2.5%	-
	50歳代(N=112)	33 29.5%	39 34.8%	27 24.1%	10 8.9%	2 1.8%	1 0.9%	-
	60歳代(N=156)	39 25.0%	54 34.6%	39 25.0%	11 7.1%	8 5.1%	3 1.9%	2 1.3%
	70歳代(N=128)	46 35.9%	28 21.9%	36 28.1%	8 6.3%	4 3.1%	4 3.1%	2 1.6%
	80歳以上(N=59)	27 45.8%	13 22.0%	8 13.6%	2 3.4%	4 6.8%	4 6.8%	1 1.7%
居住地区別	名瀬(N=499)	149 29.9%	161 32.3%	123 24.6%	36 7.2%	17 3.4%	8 1.6%	5 1.0%
	住用(N=68)	28 41.2%	13 19.1%	14 20.6%	8 11.8%	-	5 7.4%	-
	笠利(N=87)	40 46.0%	23 26.4%	11 12.6%	6 6.9%	4 4.6%	2 2.3%	1 1.1%

(4) 愛着度／あなたは奄美が好きですか？

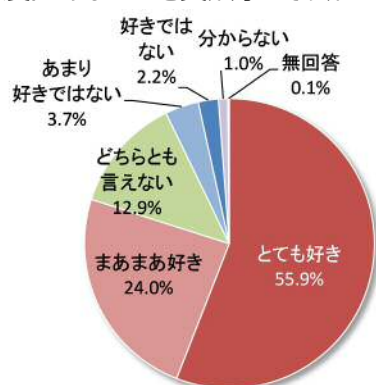
奄美が好きか（愛着度）について、「とても好き」が55.9%で最も多く、次いで「まあまあ好き」が24.0%の順となっている。『好き（「とても好き」と「まあまあ好き」の合計）』は79.9%で約8割となっており、『好きではない（「あまり好きではない」と「好きではない」の合計）』の5.9%を大きく上回っている。

これを属性別にみると、性別では、男女とも全体と同様に「とても好き」が最も多く、次いで「まあまあ好き」となっており、性別で大きな違いは見られない。

年代別では、全ての年代で全体と同様に「とても好き」が最も多くなっている。特に60歳以上は8割以上、10歳代は9割以上を『好き』が占め、他年代に比べ多くなっている一方、20～30歳代は『好きではない』がそれぞれ17.2%、13.6%と1割以上見られる。

居住地区別では、どの地区でも全体と同様に「とても好き」が最も多く、次いで「まあまあ好き」となっており、特に笠利は『好き』が90.8%で9割以上となっており、他地区に比べ多くなっている。

〔愛着度／あなたは奄美が好きですか？ N=667〕



		とても好き	まあまあ好き	どちらとも言えない	あまり好きではない	好きではない	分からない	無回答
性別	男性(N=263)	145 55.1%	69 26.2%	31 11.8%	10 3.8%	5 1.9%	3 1.1%	-
	女性(N=352)	194 55.1%	76 21.6%	54 15.3%	14 4.0%	9 2.6%	4 1.1%	1 0.3%
年代別	10歳代(N=27)	21 77.8%	4 14.8%	2 7.4%	-	-	-	-
	20歳代(N=35)	20 57.1%	5 14.3%	4 11.4%	5 14.3%	1 2.9%	-	-
	30歳代(N=66)	27 40.9%	21 31.8%	9 13.6%	7 10.6%	2 3.0%	-	-
	40歳代(N=80)	35 43.8%	21 26.3%	17 21.3%	3 3.8%	2 2.5%	1 1.3%	1 1.3%
	50歳代(N=112)	50 44.6%	35 31.3%	22 19.6%	1 0.9%	3 2.7%	1 0.9%	-
	60歳代(N=156)	80 51.3%	49 31.4%	18 11.5%	5 3.2%	4 2.6%	-	-
	70歳代(N=128)	93 72.7%	20 15.6%	10 7.8%	2 1.6%	2 1.6%	1 0.8%	-
	80歳以上(N=59)	45 76.3%	3 5.1%	4 6.8%	2 3.4%	1 1.7%	4 6.8%	-
居住地区別	名瀬(N=499)	261 52.3%	126 25.3%	77 15.4%	20 4.0%	12 2.4%	2 0.4%	1 0.2%
	住用(N=68)	41 60.3%	13 19.1%	4 5.9%	4 5.9%	1 1.5%	5 7.4%	-
	笠利(N=87)	63 72.4%	16 18.4%	5 5.7%	1 1.1%	2 2.3%	-	-

(5) 教育環境の満足度／奄美は、子どもがいきいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思いますか？

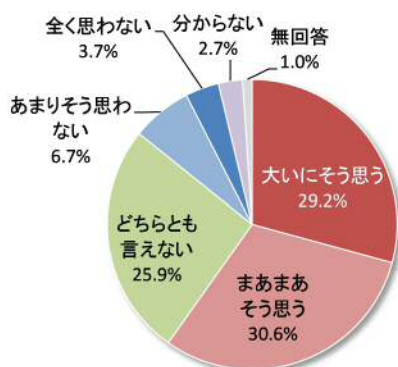
子どもがいきいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思うか（教育環境の満足度）について、「まあまあそう思う」が 30.6%で最も多く、次いで「大いにそう思う」が 29.2%の順となっている。『そう思う（「大いにそう思う」と「まあまあそう思う」の合計）』は 59.8%で約 6 割となっており、『そう思わない（「あまりそう思わない」と「全く思わない」の合計）』の 10.4%を上回っている。

これを属性別にみると、性別では、男性は全体と同様に「まあまあそう思う」、女性は「大いにそう思う」がそれぞれ最も多くなっている。

年代別では、60 歳代は全体と同様に「まあまあそう思う」、10～40 歳代と 70 歳以上は「大いにそう思う」、50 歳代は「どちらとも言えない」がそれぞれ最も多くなっている。子育て世代の 30 歳代については、『そう思わない』が 18.2%と他年代に比べ多くなっている。

居住地区別では、名瀬は全体と同様に「まあまあそう思う」、住用と笠利は「大いにそう思う」がそれぞれ最も多くなっている一方、住用は『そう思う』が 54.5%と他地区に比べ少なくなっている。

〔教育環境の満足度／奄美は、子どもがいきいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思いますか？ N=667〕



		大いにそう思う	まあまあ そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	全く思わない	分からない	無回答
性別	男性(N=263)	69 26.2%	82 31.2%	70 26.6%	19 7.2%	12 4.6%	8 3.0%	3 1.1%
	女性(N=352)	108 30.7%	105 29.8%	89 25.3%	24 6.8%	13 3.7%	9 2.6%	4 1.1%
年代別	10歳代(N=27)	15 55.6%	8 29.6%	2 7.4%	2 7.4%	-	-	-
	20歳代(N=35)	13 37.1%	7 20.0%	8 22.9%	5 14.3%	1 2.9%	1 2.9%	-
	30歳代(N=66)	22 33.3%	18 27.3%	13 19.7%	8 12.1%	4 6.1%	1 1.5%	-
	40歳代(N=80)	25 31.3%	24 30.0%	19 23.8%	3 3.8%	7 8.8%	1 1.3%	1 1.3%
	50歳代(N=112)	25 22.3%	36 32.1%	37 33.0%	7 6.3%	4 3.6%	2 1.8%	1 0.9%
	60歳代(N=156)	25 16.0%	64 41.0%	44 28.2%	12 7.7%	4 2.6%	6 3.8%	1 0.6%
	70歳代(N=128)	43 33.6%	34 26.6%	39 30.5%	5 3.9%	3 2.3%	2 1.6%	2 1.6%
	80歳以上(N=59)	26 44.1%	12 20.3%	9 15.3%	3 5.1%	2 3.4%	5 8.5%	2 3.4%
居住地区別	名瀬(N=499)	135 27.1%	158 31.7%	134 26.9%	37 7.4%	21 4.2%	10 2.0%	4 0.8%
	住用(N=68)	22 32.4%	15 22.1%	18 26.5%	4 5.9%	2 2.9%	6 8.8%	1 1.5%
	笠利(N=87)	32 36.8%	27 31.0%	18 20.7%	4 4.6%	2 2.3%	2 2.3%	2 2.3%

(6) 医療・福祉環境の満足度／奄美は、高齢者がかかる医療機関や福祉が充実していると思いますか？

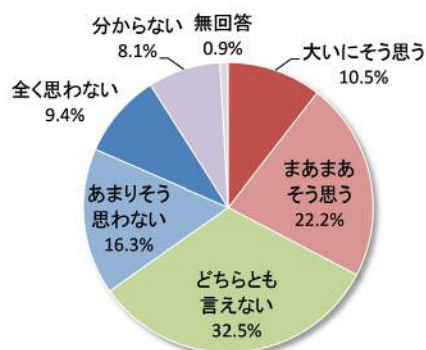
高齢者がかかる医療機関や福祉が充実していると思うか（医療・福祉環境の満足度）について、「どちらとも言えない」が32.5%で最も多く、『そう思う（「大いにそう思う」と「まあまあそう思う」の合計）』は32.7%で3割以上となっている一方、『そう思わない（「あまりそう思わない」と「全く思わない」の合計）』も25.7%と2割以上見られる。

これを属性別にみると、性別では、男女とも全体と同様に「どちらとも言えない」が最も多く、次いで「まあまあそう思う」となっており、性別で大きな違いは見られない。

年代別では、20～70歳代は全体と同様に「どちらとも言えない」、10歳代は「まあまあそう思う」、80歳以上は「まあまあそう思う」と「どちらとも言えない」が同率で、それぞれ最も多くなっている。なお、10歳代と70歳以上は『そう思う』が4割以上となっているのに対し、20～30歳代と50歳代は『そう思わない』が3割を超え、『そう思う』を上回っている。

居住地区別では、どの地区でも全体と同様に「どちらとも言えない」が最も多くなっているが、笠利は『そう思わない』が28.7%と他地区に比べ多くなっている。

〔医療・福祉環境の満足度／奄美は、高齢者がかかる医療機関や福祉が充実していると思いますか？ N=667〕



		大いにそう思う	まあまあそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全く思わない	分からない	無回答
性別	男性(N=263)	23 8.7%	58 22.1%	85 32.3%	48 18.3%	27 10.3%	20 7.6%	2 0.8%
	女性(N=352)	39 11.1%	79 22.4%	118 33.5%	54 15.3%	30 8.5%	29 8.2%	3 0.9%
年代別	10歳代(N=27)	4 14.8%	9 33.3%	6 22.2%	2 7.4%	2 7.4%	4 14.8%	-
	20歳代(N=35)	1 2.9%	4 11.4%	12 34.3%	10 28.6%	3 8.6%	5 14.3%	-
	30歳代(N=66)	-	8 12.1%	22 33.3%	12 18.2%	9 13.6%	15 22.7%	-
	40歳代(N=80)	9 11.3%	16 20.0%	26 32.5%	8 10.0%	13 16.3%	8 10.0%	-
	50歳代(N=112)	7 6.3%	28 25.0%	36 32.1%	26 23.2%	10 8.9%	4 3.6%	1 0.9%
	60歳代(N=156)	12 7.7%	38 24.4%	59 37.8%	28 17.9%	9 5.8%	9 5.8%	1 0.6%
	70歳代(N=128)	24 18.8%	30 23.4%	39 30.5%	15 11.7%	12 9.4%	4 3.1%	4 3.1%
	80歳以上(N=59)	12 20.3%	15 25.4%	15 25.4%	8 13.6%	4 6.8%	5 8.5%	-
居住地区別	名瀬(N=499)	56 11.2%	110 22.0%	153 30.7%	85 17.0%	48 9.6%	43 8.6%	4 0.8%
	住用(N=68)	3 4.4%	12 17.6%	34 50.0%	11 16.2%	2 2.9%	6 8.8%	-
	笠利(N=87)	10 11.5%	21 24.1%	24 27.6%	13 14.9%	12 13.8%	5 5.7%	2 2.3%

(7) 地産地消度／あなたは地元産の食材を食べた時に幸せだと思えますか？

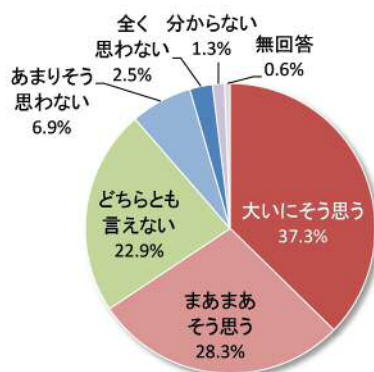
地元産の食材を食べた時に幸せだと思うか（地産地消度）について、「大いにそう思う」が37.3%で最も多く、『そう思う（「大いにそう思う」と「まあまあそう思う」の合計）』は65.6%で6割以上と、『そう思わない（「あまりそう思わない」と「全く思わない」の合計）』の9.4%を大きく上回っている。

これを属性別にみると、性別では、女性は全体と同様に「大いにそう思う」、男性は「まあまあそう思う」がそれぞれ最も多くなっている。

年代別では、10歳代と30歳以上は全体と同様に「大いにそう思う」、20歳代は「大いにそう思う」と「どちらとも言えない」が同率で、それぞれ最も多くなっている。10歳代と70歳以上は『そう思う』が7割を超えている一方、30歳代は『そう思わない』が19.7%と他年代に比べ多くなっている。

居住地区別では、どの地区とも全体と同様に「大いにそう思う」がそれぞれ最も多くなっている。笠利は『そう思う』が70.1%と他地区に比べ多くなっている。

〔地産地消度／あなたは地元産の食材を食べた時に幸せだと思えますか？ N=667〕



		大いにそう思う	まあまあ そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	全く思わない	分からない	無回答
性別	男性(N=263)	80 30.4%	83 31.6%	70 26.6%	11 4.2%	13 4.9%	4 1.5%	2 0.8%
	女性(N=352)	145 41.2%	92 26.1%	74 21.0%	33 9.4%	3 0.9%	5 1.4%	-
年代別	10歳代(N=27)	15 55.6%	6 22.2%	6 22.2%	-	-	-	-
	20歳代(N=35)	11 31.4%	11 31.4%	9 25.7%	4 11.4%	-	-	-
	30歳代(N=66)	22 33.3%	19 28.8%	11 16.7%	12 18.2%	1 1.5%	1 1.5%	-
	40歳代(N=80)	29 36.3%	22 27.5%	21 26.3%	4 5.0%	3 3.8%	1 1.3%	-
	50歳代(N=112)	38 33.9%	31 27.7%	34 30.4%	6 5.4%	2 1.8%	1 0.9%	-
	60歳代(N=156)	51 32.7%	47 30.1%	38 24.4%	13 8.3%	6 3.8%	-	1 0.6%
	70歳代(N=128)	51 39.8%	40 31.3%	26 20.3%	4 3.1%	4 3.1%	2 1.6%	1 0.8%
	80歳以上(N=59)	31 52.5%	11 18.6%	8 13.6%	3 5.1%	1 1.7%	4 6.8%	1 1.7%
居住地区別	名瀬(N=499)	176 35.3%	147 29.5%	116 23.2%	39 7.8%	15 3.0%	5 1.0%	1 0.2%
	住用(N=68)	29 42.6%	17 25.0%	15 22.1%	3 4.4%	-	4 5.9%	-
	笠利(N=87)	40 46.0%	21 24.1%	19 21.8%	4 4.6%	2 2.3%	-	1 1.1%

(8) 招待意向度／あなたは奄美に友人・知人を呼びたいと思いますか？

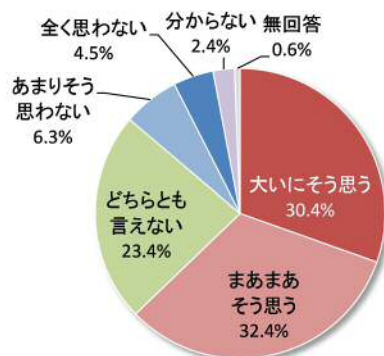
奄美に友人・知人を呼びたいと思うか（招待意向度）について、「まあまあそう思う」が32.4%と最も多く、次いで「大いにそう思う」が30.4%の順となっている。『そう思う（「大いにそう思う」と「まあまあそう思う」の合計）』は62.8%で6割以上となっており、『そう思わない（「あまりそう思わない」と「全く思わない」の合計）』の10.8%を大きく上回っている。

これを属性別にみると、性別では、男性は全体と同様に「まあまあそう思う」、女性は「大いにそう思う」がそれぞれ最も多くなっている。

年代別では、30歳代と50～60歳代は全体と同等に「まあまあそう思う」、10～20歳代と40歳代、70歳以上は「大いにそう思う」がそれぞれ最も多くなっている。『そう思う』は10～20歳代で7割を超える一方、80歳以上は49.1%と5割を下回っている。

居住地区別では、名瀬は全体と同様に「まあまあそう思う」、住用は「まあまあそう思う」と「どちらとも言えない」、笠利は「大いにそう思う」がそれぞれ最も多くなっている。笠利は『そう思う』が71.3%と他地区に比べ多くなっている。

〔招待意向度／あなたは奄美に友人・知人を呼びたいと思いますか？ N=667〕



		大いにそう思う	まあまあそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全く思わない	分からない	無回答
性別	男性(N=263)	68 25.9%	84 31.9%	68 25.9%	17 6.5%	13 4.9%	10 3.8%	3 1.1%
	女性(N=352)	120 34.1%	114 32.4%	79 22.4%	23 6.5%	12 3.4%	3 0.9%	1 0.3%
年代別	10歳代(N=27)	14 51.9%	7 25.9%	4 14.8%	-	-	2 7.4%	-
	20歳代(N=35)	18 51.4%	7 20.0%	6 17.1%	1 2.9%	2 5.7%	1 2.9%	-
	30歳代(N=66)	17 25.8%	24 36.4%	17 25.8%	4 6.1%	4 6.1%	-	-
	40歳代(N=80)	27 33.8%	25 31.3%	18 22.5%	7 8.8%	3 3.8%	-	-
	50歳代(N=112)	30 26.8%	46 41.1%	28 25.0%	4 3.6%	4 3.6%	-	-
	60歳代(N=156)	39 25.0%	53 34.0%	40 25.6%	12 7.7%	8 5.1%	3 1.9%	1 0.6%
	70歳代(N=128)	41 32.0%	39 30.5%	28 21.9%	8 6.3%	6 4.7%	3 2.3%	3 2.3%
	80歳以上(N=59)	16 27.1%	13 22.0%	15 25.4%	5 8.5%	3 5.1%	7 11.9%	-
居住地区別	名瀬(N=499)	145 29.1%	164 32.9%	118 23.6%	35 7.0%	26 5.2%	9 1.8%	2 0.4%
	住用(N=68)	18 26.5%	21 30.9%	21 30.9%	4 5.9%	-	4 5.9%	-
	笠利(N=87)	36 41.4%	26 29.9%	15 17.2%	2 2.3%	3 3.4%	3 3.4%	2 2.3%

(9) おもてなし意向度／あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？

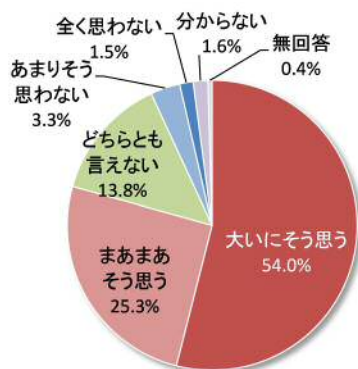
島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいか（おもてなし意向度）について、「大いにそう思う」が 54.0%で最も多く、『そう思う（「大いにそう思う」と「まあまあそう思う」の合計）』は 79.3%で約 8 割と、『そう思わない（「あまりそう思わない」と「全く思わない」の合計）』の 4.8%を大きく上回っている。

これを属性別にみると、性別では、男女とも全体と同様に「大いにそう思う」が最も多く、次いで「まあまあそう思う」となっており、性別で大きな違いは見られない。

年代別では、全ての年代で全体と同様に「大いにそう思う」が最も多くなっている。10 歳代は『そう思う』が 88.9%と他年代に比べ多くなっている一方、80 歳以上は 69.4%に留まっており、20 歳代は『そう思わない』が 14.3%と他年代に比べ多くなっている。

居住地区別では、どの地区でも全体と同様に「大いにそう思う」が最も多く、次いで「まあまあそう思う」となっており、地区別で大きな違いは見られない。

〔おもてなし意向度／あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？ N=667〕



		大いにそう思う	まあまあ そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	全く思わない	分からない	無回答
性別	男性(N=263)	129 49.0%	65 24.7%	47 17.9%	11 4.2%	6 2.3%	3 1.1%	2 0.8%
	女性(N=352)	203 57.7%	90 25.6%	39 11.1%	9 2.6%	4 1.1%	6 1.7%	1 0.3%
年代別	10歳代(N=27)	20 74.1%	4 14.8%	1 3.7%	1 3.7%	-	1 3.7%	-
	20歳代(N=35)	20 57.1%	6 17.1%	3 8.6%	5 14.3%	-	1 2.9%	-
	30歳代(N=66)	29 43.9%	23 34.8%	12 18.2%	1 1.5%	1 1.5%	-	-
	40歳代(N=80)	42 52.5%	22 27.5%	12 15.0%	1 1.3%	1 1.3%	1 1.3%	1 1.3%
	50歳代(N=112)	64 57.1%	32 28.6%	14 12.5%	1 0.9%	1 0.9%	-	-
	60歳代(N=156)	80 51.3%	42 26.9%	22 14.1%	8 5.1%	2 1.3%	1 0.6%	1 0.6%
	70歳代(N=128)	73 57.0%	28 21.9%	17 13.3%	3 2.3%	4 3.1%	3 2.3%	-
	80歳以上(N=59)	31 52.5%	10 16.9%	10 16.9%	2 3.4%	1 1.7%	4 6.8%	1 1.7%
居住地区別	名瀬(N=499)	269 53.9%	129 25.9%	66 13.2%	18 3.6%	9 1.8%	5 1.0%	3 0.6%
	住用(N=68)	33 48.5%	19 27.9%	10 14.7%	2 2.9%	-	4 5.9%	-
	笠利(N=87)	52 59.8%	17 19.5%	14 16.1%	2 2.3%	1 1.1%	1 1.1%	-

(10) 永住希望度／あなたは奄美に今後も住み続けたいですか？

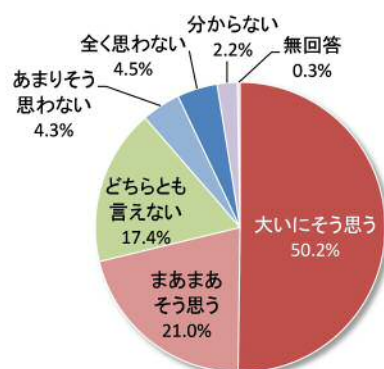
奄美に今後も住み続けたいか（永住希望度）について、「大いにそう思う」が 50.2%で最も多く、次いで「まあまあそう思う」が 21.0%の順となっている。『そう思う（「大いにそう思う」と「まあまあそう思う」の合計）』は 71.2%で 7 割以上と、『そう思わない（「あまりそう思わない」と「全く思わない」の合計）』の 8.8%を大きく上回っている。

これを属性別にみると、性別では、男女とも全体と同様に「大いにそう思う」が最も多く、次いで「まあまあそう思う」となっており、性別で大きな違いは見られない。

年代別では、40 歳以上は全体と同様に「大いにそう思う」、10 歳代は「大いにそう思う」と「まあまあそう思う」、「どちらとも言えない」が同率、20 歳代は「どちらとも言えない」、30 歳代は「まあまあそう思う」が、それぞれ最も多くなっている。20 歳代は『そう思う』が 45.7%と 5 割を下回り、他年代に比べ少なくなっている。『そう思う』は 20 歳代から年代が上がるにつれ増加傾向にある。

居住地区別では、全ての地区で全体と同様に「大いにそう思う」が最も多くなっているが、名瀬は『そう思わない』が 10.0%と他地区に比べ多くなっている。

〔永住希望度／あなたは奄美に今後も住み続けたいですか？ N=667〕



		大いにそう思う	まあまあ そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	全く思わない	分からない	無回答
性別	男性(N=263)	136 51.7%	58 22.1%	39 14.8%	10 3.8%	14 5.3%	6 2.3%	-
	女性(N=352)	160 45.5%	77 21.9%	71 20.2%	19 5.4%	14 4.0%	9 2.6%	2 0.6%
年代別	10歳代(N=27)	8 29.6%	8 29.6%	8 29.6%	1 3.7%	1 3.7%	1 3.7%	-
	20歳代(N=35)	9 25.7%	7 20.0%	11 31.4%	6 17.1%	1 2.9%	1 2.9%	-
	30歳代(N=66)	16 24.2%	22 33.3%	15 22.7%	6 9.1%	4 6.1%	2 3.0%	1 1.5%
	40歳代(N=80)	29 36.3%	20 25.0%	15 18.8%	5 6.3%	7 8.8%	3 3.8%	1 1.3%
	50歳代(N=112)	40 35.7%	33 29.5%	27 24.1%	5 4.5%	5 4.5%	2 1.8%	-
	60歳代(N=156)	93 59.6%	29 18.6%	21 13.5%	4 2.6%	7 4.5%	2 1.3%	-
	70歳代(N=128)	93 72.7%	15 11.7%	15 11.7%	1 0.8%	3 2.3%	1 0.8%	-
	80歳以上(N=59)	46 78.0%	4 6.8%	3 5.1%	1 1.7%	2 3.4%	3 5.1%	-
居住地区別	名瀬(N=499)	237 47.5%	115 23.0%	88 17.6%	25 5.0%	25 5.0%	8 1.6%	1 0.2%
	住用(N=68)	37 54.4%	11 16.2%	11 16.2%	3 4.4%	2 2.9%	4 5.9%	-
	笠利(N=87)	52 59.8%	11 12.6%	16 18.4%	1 1.1%	3 3.4%	3 3.4%	1 1.1%

(11) 各項目の比較

(1) ～ (10) の各項目の比較を見ると以下のとおりとなっている。

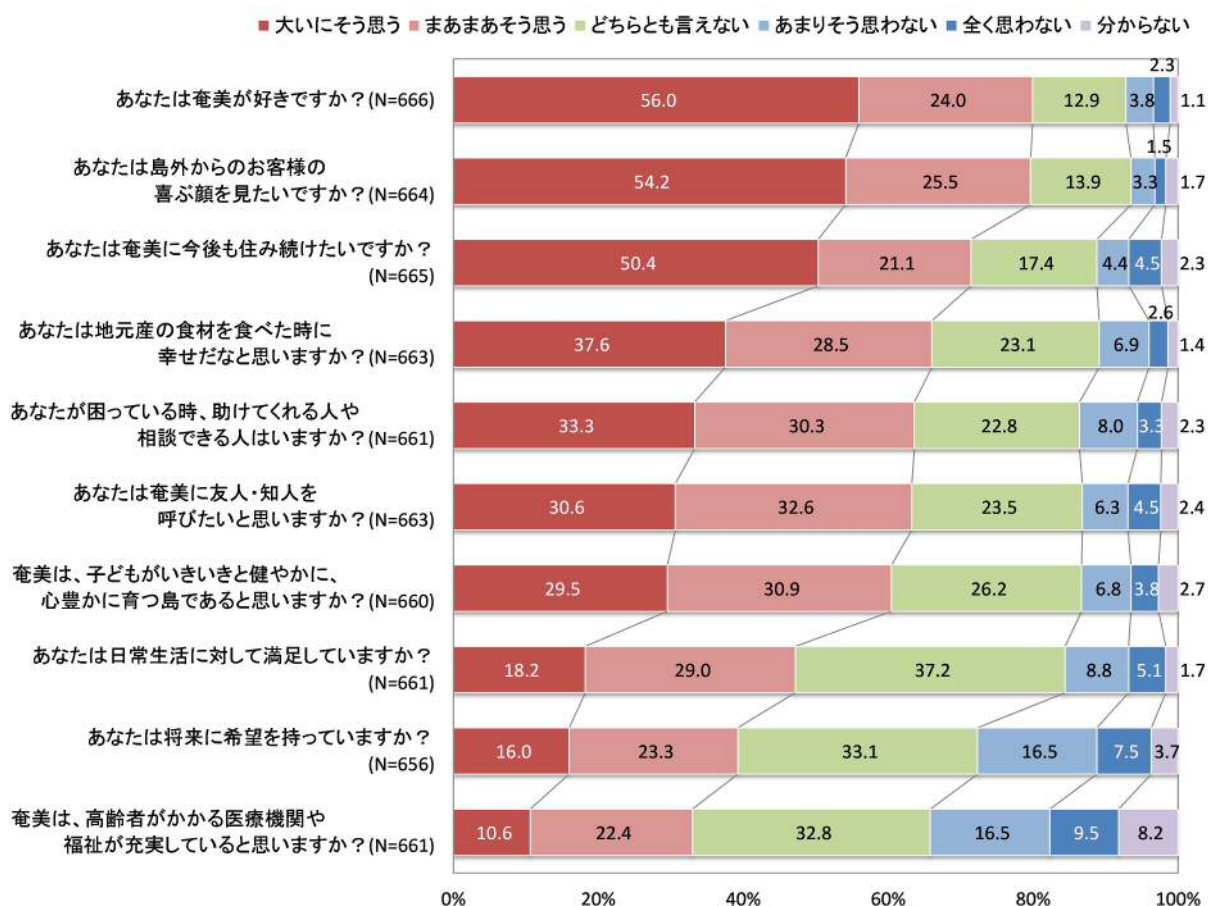
『そう思う』の回答率が高いのは、

- 1 位 「愛着度／あなたは奄美が好きですか？」 (80.0%)
- 2 位 「おもてなし意向度／あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？」 (79.7%)
- 3 位 「永住希望度／あなたは奄美に今後も住みたいですか？」 (71.5%)

一方、『思わない』の回答率が高いのは、

- 1 位 「医療・福祉環境の満足度／奄美は、高齢者がかかる医療機関や福祉が充実していると思いますか？」 (26.0%)
 - 2 位 「将来への希望度／あなたは将来に希望を持っていますか？」 (24.0%)
 - 3 位 「生活の満足度／あなたは日常生活に対して満足していますか？」 (13.9%)
- となっている。

〔各項目の比較〕



※無回答を除く。

(12) 日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？

日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは、以下のとおりとなっている。

なお、「問2 あなたが、日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか」（自由記述）に記載があった全てを原文のまま記載している。

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？〕

年代	性別	居住地区	意見
10 歳代	男性	名瀬	のんびりしている。
			自分で育てた野菜を食べる時。
			人が優しい。気軽に話しやすい。
			自然の中で遊びまわっている時。
			みんなと楽しくしている時。
			家族や友人と毎日一緒に過ごせる事。
			知り合いが多い。ゆったりしている。せかせかしていない。
	住用	きれいな海で泳げる。	
	笠利	自然が豊かで、人の優しさに溢れている事。	
		小学校、中学校、高校と友達が多く、ずっと変わらずに交流がある。	
	女性	名瀬	幸せだと感じるのは、友達がたくさんできて、好きな人もできて、好きな吹奏楽を毎日出来ている日々です。毎日が楽しくて仕方ないです。虫が出てしまうことが嫌ですが、奄美はそういう島だから仕方ないと思っています。便利なものが少ないのも少し不満ではありますが、それを受け入れながら生活出来ているのでオール OK です。不満はないです。アンケートを書き、なんだか楽しかったです。奄美のことを深く考える事が出来て、いい時間でした。あと1年ちょっと、奄美での生活を楽しまします。ありがとうございました
			友達と話している時。
			身近にきれいな海がある事。「離島だからこそ」という強みがある。
			自然に囲まれて生活出来る事。
			好きな事をしている時。
			人と人が温かいつながりを持っている事。
		海がきれいである事。人が優しく温かいところ。	
		住用	自然に囲まれている事。
			卒業後、島を離れますが、奄美に絶対帰って来ます。将来は、奄美で生活しようと考えています。
		笠利	のんびりしている。海がきれい。鶏飯が美味しい。人が親切。
		自然豊かでとても空気がきれい好き。人が温かく、住んでいてたくさん笑顔になれる。	
		島時間で時間がゆっくり、のんびり流れている時。きれいな景色を見た時。人の温かさを感じた時。	
20 歳代		男性	名瀬
	海、山に満足している。		
	人の役に立った時。		
	鶏飯を食べた時。海に行った時。		
	自然豊かな所。		
	女性	名瀬	海がきれい。地元の食べ物がおいしい。星がきれい。景色がきれい。鹿児島をほめられたり、移住者が増えている事。好きな人がいる事。
			悩んだりした時に、相談できる相手が周りにたくさんいる事。
			島の自然環境、子供の遊びとして、内地にはないものがある。
			人が優しい。穏やかな人が多いと思う。
			島の料理は美味しい。
			欲しいものを手に入れた時。
			人との距離が近い事。近所づきあいがあって良い。
			好きな事をしている時。
		奄美の山、海、空などの自然の良さ。	
		夏の晴れた日に綺麗な海を見たり、空を眺める事や夜に星空を眺める事。奄美のありのままの自然に触れた時。	
		社会人になってもスポーツをする(できる)環境がある事。	
		住用	のんびりしている時。
	食べ物おいしい。人が優しい。自然が気持ちいい。		
	奄美の自然の中でのびのびと育児が出来事。子供が生き物に興味を持った事。		
笠利	海が近くにあり、いつも癒される。		
-	人と人とのつながりがとても強いと感じます。		
30 歳代	男性	名瀬	常に知っている人とばったり会う確率が高い。共存、共栄している事を実感できる。
			家族、自然、食。
			普段と変わらない生活。
			海や山など、自然の中で遊んだりできる。
			家族及び子供達の笑顔。

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
30 歳代	男性	名瀬	自然の豊かさと人の温かさ。
			食べ物が美味しい。子供が簡単に自然と触れ合えるのが良い。
			島の人は優しい。親切である。
			見知らぬ人も我が子に優しく接してくれる事(奄美の人は子供好きなのかな)。
			町内会活動などが盛んに行われており、地域住民とのコミュニティーが出来ている事は満足している。
	住用		過ごしやすい。生活しやすい。
			海や自然、観光施設は充実しています。
	女性	名瀬	家族と休日に過ごす。
			きれいな海を見られる事。美味しい魚やフルーツを食べられる事。
			ゆっくりのんびり生活出来る事。
			島の食材が食べられる。島唄、踊りが街にある。若い人が多い。笑顔が多い。
			普通に生活出来ている。
			子供達が楽しそうにしている時。
			自然の恵み。
			天気のいい日に職場から見る景色(名瀬港)はとても癒されます。
			自然が美しい所。
			美味しいご飯を食べて、家族と過ごす時間。
			平穏な日々が幸せです。夏場の海は遊ぶにも見るにも最高です。
			子供を育てるに当たっては、大満足です。
			コバルトブルーの海やきれいな風景を見た時。
			家族や周囲の人とのつながりが強く感じられる。
			人が温かい。自然豊かでのんびり。それ以外ない。
		美しい海の景色が見られる事。	
		子供が健康でいる事。仕事出来る事。	
		子供の笑顔。	
		近隣住民が声をかけ合い、助け合いの気持ちが強いところ。	
		子供が自然と触れ合っていて楽しそうな時。子供が楽しそうにしている時。海、空、星がきれいな事。	
家族で食事をする事。			
住用		自然が豊かで、海が綺麗だから幸せ。	
		自然に囲まれた生活が送れている事。	
		子供が生きているという事。	
笠利		田舎ながら、田舎を感じさせない所。例えば、ファッションや買い物など。	
		子供と過ごす時間。	
40 歳代	男性	名瀬	子供達と海に行ったり、奄美の良さを感じる時。
			困っている時に助けてくれる友人、家族がいて、身近に自然を感じられる時。
			子供が喜ぶ事。
			子供の成長。地域。
			家族で同じ時間を過ごし、笑っていられる事。
			夫婦円満な事。
			仕事(収入)が絶え間なくある。仕事を通していろんな人と出会い、触れ合うことが出来る。
			豊かな自然に囲まれて、奄美に生まれて幸せです。名瀬市内には何でもあって便利です。
			人々が親切。他者に対する寛容さを多くの人が持っている。
			親近感。
			家族。
			お酒を飲んでいる時。
			家庭円満。働きやすい環境。
			子供の日々の成長を見る時。
			人が温かい。
	住用		時間がたくさんある事。服装がラフであってもあまり気にしない事。
			毎日美味しいご飯が食べられる事。
			生きている事。
	女性	名瀬	大自然に囲まれたところ。
			美味しいものを食べた時。
			家族で海へ行く事。
			子供の笑顔を見る事。
			家族や友人、大切な人達と一緒にいる事。
			奄美を誇りに思っていて、友人を奄美に呼びたいし、呼んだ時に喜んでもらえる事。島人が結の精神で助け合える事。
			自然が豊かな事。
			温暖な気候。美しい手付かずの自然。
	島に暮らすお年寄りの方々の接してくれる態度が温かく、幸せを感じる。		

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
40歳代	女性	名瀬	人との出会い。
			子供や家族が健康である事。
			孫と遊ぶ。
			地域とのふれあいがあるのは良いと思う。子供達も安心して外で遊べる。
			旅行に行った時。
			友達などと会った時。
			一日が充実して過ごせた時。
			両親が近くにいる事で、子育てしていく上で協力が得られる事。知り合いが多い事(親類など)。しがらみなど嫌な部分もあるが。
			毎朝、いつもの朝を迎えられる事。
			美しい自然環境が当たり前のようにある事。
			自然が残っている。
			たくさんの自然に子供に触れさせる事が出来る。
			空が青い事。風が気持ちいい事。がじゅまるの木陰。
			すぐ近くに整備されていない本物の自然がある。食べ物が美味しい。
			きれいな海を見る事。
			大切な仲間とスポーツが出来る事。
			奄美で生活出来ている事。奄美の自然(海など)。夫婦ともに元気で楽しく過ごせている事。
			子供が元気に育っている事。
	日々事故無く、健康に過ごせる事。		
	住用	海や自然に囲まれ、心穏やかに毎日を過せる事。生まれ育った奄美で子供達や家族、友人達と日々いれる事が最大の幸せ。	
		自然に満足。子育て、老後にはとてもいい島です。	
		人とのつながりが強い事。人が優しい。豊かな自然。	
		自然に恵まれた住みよい環境が好きです。家族が健やかに生活出来る事。	
		子供の笑顔。海、空、朝日、星がきれいである所が幸せだと感じる。	
		豊かな自然に囲まれている事。	
	笠利	眠る時。	
		若いうちは車で自由に動けるので、今は満足です。	
仕事があり、収入が安定し、生活に困らない事が幸せです。			
子供達が地域の方々に声をかけてもらえる事。ゆっくり生活(子育て)出来る事。			
家族が笑顔でいる時。			
奄美の自然の中で、心穏やかに何気ない毎日を過ごす時。			
-	名瀬	自然豊かで、自然を身近に感じる事。	
		兄、姉と、近くで呼び合える中で子育てをして、親の世話を受けたり、また、親の世話をすることが出来る環境である事。	
50歳代	男性	名瀬	一年を通して気候が暖かいので、満足している。
			家族と一緒にいる事。
			豊かな自然。
			近場に自然がある事。
			奄美の文化、自然に触れた時。
			病気を患っていますが、困ることなく過ごせている事です。ありがとうございます。
			今日も一日無事に過ごせた時。
			自分の部屋へ帰る時。
			自然に恵まれている。障害者に優しい制度があり、助かる。
			自然が多く、気持ちが落ち着くところや島の人々が優しい所。
			家族と一緒にいる時。
			家族の笑顔が見れる時。
			豊かな自然に恵まれている。周りに知人、友人が多くいて、相互扶助の関係が保たれている。
			妻と共に幸せに生活出来る事。親が近くにいる事。
			奄美の食材が充実しており、それを用いた食事が非常に美味しい事。また、手付かずの自然が多く残されている事。
			人が温かい。食材がおいしい。
			仕事が見つかった時、幸せと思う。
			ご飯がおいしく食べられる事。
			家族と笑顔で団欒する時。特に本土在住の家族が帰省して楽しく過ごす時。
			人と自然。
			コンクリート建造物の全くない、自然の中に身を置いた瞬間。
			普通に生活している事。
			ほぼ食べたい物、飲みたい物が遠出せずに手に入る事。
			家族が健康な事。

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見	
50 歳代	男性	名瀬	ある程度自由になる時間が持てる事。	
			家族が健康である事。親も元気で過ごせている事。	
			気候が温暖で住みやすい。	
		住用	子どもの笑顔。	
			地元に住めること。	
		笠利	時間の流れ。	
			日々体調良く、食べて呑める生活に満足している。	
			時間がゆっくり流れている事。	
			地域のおじいちゃん、おばあちゃんを含めて、人々が温かい。生徒が素直。	
	身内がいる。話し相手がいる。			
	自然に触れやすい。			
	女性		名瀬	仕事に就けている事。子供の自立。
				職がある事。祭りの花火を見た時。友がいる事。
				人に恵まれ、奄美のゆったりとした空気感が好き。都会に行って帰ってきた時、本当にホッとします。
		家族が健康でいる事。		
		家族が健康で毎日を過ごしている。		
		毎日の生活が出来ている事。		
		青い空、青い海、夜空の星が身近にある事。		
		人が多すぎない事。空、海、山が近い。		
		色々な事はありますが、家族と楽しく過ごせている。奄美の美しい海、山、空、大好きです。不幸と不満を感じればそうなるので、なるべく思わない。幸せです。		
		不自由なく生活出来ている事。		
		奄美の山、海が近くにあり、常に自然を感じる事が出来る所。		
		美味しいものを食べた時。家族との時間。		
		水が美味しい。		
		自然。都会にはない、不便なところがいい。ハイキングコース等あればもっといいと思います。		
		きれいな海の色、空の色、山の色。人の温かさに触れた時。		
		家族が健康でいる事。		
		一日を笑顔で過ごせた時。		
		奄美の青い海を見たら幸せを感じます。		
		家族と共に笑顔でいる時。		
		夫婦ともに元気で今を過ごしている事に幸せを感じます。		
		空気がきれい。のんびりできる事。		
		車で 30 分もあればきれいな海や森に行ける。		
		仕事にやりがいを感じる。子供達がそれぞれ自立している。		
		海、山の幸が美味しくて、食べると幸せ。		
		健康で生活している事。		
海や山が近くにあり、鳥のさえずりもよく聞くことができ、日常の中に自然を体感出来た時に幸せを感じる。				
子供達が自然の中でのびのびと元気に育ってくれた事。				
家庭円満。仕事が充実している。				
子供の成長。				
身近に両親もおり、世話が出来る事。買い物、病院、学校が近くにあり、便利な事。				
年配の方の笑顔。				
食べ物が美味しい事。				
孫が遊びに来てくれる事。				
家族が健康で充実した生活を送れている。ライフワークバランスが取れている。				
きれいな海の色を毎日見る事が出来る。				
日々の生活の中で、小さな事でも嬉しい。育てている花がきれいに咲いたなど。				
平和。				
健康面。				
海、空、風、自然を身近に感じられる事。				
家族が健康で生活出来ている事だけで満足です。				
美しい海、空、星、月を見る事が出来る事。				
住用	他人を笑顔にできた時。			
	みんなが協力し合い、過ごせる事が幸せだと思う。			
	家族が健康で元気に笑顔で過ごせている事。			
笠利	今年には災害もなく、普通の生活を送れている事。			
	食べる事、働ける事、親が近くにいる事。感謝出来る事すべてが嬉しいです。			
	一人暮らしなので自由な事。きれいな海、山が近くにある事。			
			自然が豊かで、道路がきれいだと幸せを感じる。	

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見		
50歳代	女性	笠利	事件などが少ない事。自然が豊かで素晴らしい。 夜空の星がきれい。 健康で住み慣れた奄美で生活出来ている事が幸せです。		
		-	近隣とのつながりが強い。 奄美の海がすごくきれい。仕事が出来て(家族全員)、健康で日常生活が送れる。		
		笠利	聖書を学び、幸福な生活をしている事。		
60歳代	男性	名瀬	気候も良いが、人柄が平均的に良いと感じます。 奄美の美しい景色に囲まれて生活出来る事。島人の人情に触れる時。 健康で働けている事。 気候が良い。人が優しい。離島だが便利。治安も良い。 周囲に知人や家族がいる。 生活環境が良い事。 銀行、スーパー、病院が近くにある事。 家族が健康である事。 普通に仕事をして生活出来ている事。夫婦共、健康である時幸せを感じます。 夫婦円満。 近くに孫がいる事。自分の趣味がある事。 自分の健康。 家族が健康である。子供達が奄美が好きで、住みたいと思っている。 自然がまだ少々残っている。 日常生活を健康に送れている事。 住民同士のつながりがある。気候が良い。原子力等の危険がない。 自然の多さ。 海が好きで、釣りなどが出来る事。 仕事をしている時。島外に旅行する時。 ごくごく普通で当たり前の日常を送れている事。 病気による日常生活への大きな支障もなく、体を動かさせられている事。 自然に恵まれている事。 晩酌しながらテレビを観る時。 身近な人間関係。 しがらみの強い環境ではあるが、自分のペースで生活が出来ている事は幸せな事だと思う。 特別困っていることが無い。 地元である。 知人が多く、身近に自然がたくさんある事。 自然が豊か。 健康で、地域社会に少しでも貢献出来る事を行っている時。		
			住用	自然環境が良い。 子供や孫がいる事。 自然を感じている時。	
			笠利	自然、友人。 自然の中に住んでいると思える事。 自然が残っている事。	
			女性	名瀬	子供がUターンで帰ってきて、一緒に住んでいる事。 用事が歩いて出来る事。一日の時間がゆっくりとしている事。 健康で美味しいものを食べたり、旅行したり出来る事。 健康で過ごせていることに幸せを感じる。 集落の方々と過ごしている時に特に感じます。 週3~4回、運動教室に通っています。教室の気の合う友達に会える事がとても楽しみです。 海と空気。自然の美しさ。 家族、友人との関わりで平和的な関係を築いている事。 近所に知人、親戚がいる事。 美しい海岸や新緑を見ている時。 自然が豊かである事。人が温かい。 自然(海)がきれい。島の文化が色濃く残っている。強制することなく、残していきたい。 普通の生活が出来る事。 家族が健康でいる事に幸せを感じます。 友人がいる事。 空気がきれい。島が美しい。 安心して住めること。 健康で日々の生活を送れる事。 友人と飲みに行ったり、奄美まつりに参加出来る事。花火きれいでした。

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
60歳代	女性	名瀬	現在のところは、五体満足で生きているという事です。
			好きな仕事があり、仲良くしてくれる友人、知人、姉妹がいる。
			奄美の自然と季節感が好き。
			ゆったりと生活が出来る。
			不自由なく過ごせる毎日に感謝。
			自然の豊かさ。
			家族が健康である事。
			今の所、親と一緒にいる事です。
			奄美が好きだから、自然を感じる時。
			病気が落ち着いている事が幸せです。
			周りに自然を感じて、鳥や虫の鳴き声でホッとできる時間がある事。
			窓を開けたまま外出できるし、夜遅くても一人で歩けるのが良い。
			子や孫と過ごせる事。
			気候、自然。生活しやすいところ。
			三食、食事が出来る事。
			食、住、夫と健康で暮らす事が幸せと感じます。
			健康である事。
			自然と触れ合う時。
		日々の生活で、トラブルの無い事。	
		元気で働いている事です。	
		仕事をもって、仕事出来る事。自然が身近にあり、満喫出来る事。	
		子供が事あるごとに帰省してくれる事。	
		重い病気にもかかわらず、毎日元気に過ごせる事。	
		環境が静かで空気が良い。	
		家族が健康で日々過ごしている事。	
		のんびりして、自分を見つめる事が出来る。海、山に囲まれている。	
		健康に日々過ごせる事。	
		仕事をしている時。	
		住用	海、山、川等々、周囲に豊かな自然があり、そこで生活できる事。
			独りで生活が可能である事。所用に自家用車で行く事が出来る。自宅から山や満月が眺められる事。
			仕事もリタイヤして、子供や孫の近くで暮らせて幸せです。
			結いのこころ。自然の豊かさ。
			住み慣れた場所で生活出来る事。海、山、川で楽しみながら自給自足を目指す事。
			私は1ターン者です。今は年金生活者ですが、奄美の物価の安さで大変救われています。物が無くて、元々の島ならではの生活にたくさん学んでいますよ。
		笠利	豊かな自然が好きです。
			自然が豊かである事は、お金では買えない宝であると思う。
自分は今の所健康でいられる事。			
ゆったりと時が流れている。			
地域にまだ昔ながらの助け合い、声掛けが残っていると思う。			
人とのつながり。			
のんびりした時間を過ごせる事。			
身体が不自由になってから、人や主人のしてくれる事に満足しています。			
元気で暮らしていける。生涯学習がある事。			
自然が豊かで一日の終わりに夕日を見る時。			
毎日、海と山が見えること。			
自然。果物等豊富。			
-	名瀬	自然に恵まれている事。まだまだ伸びしろがある事。	
		自然の恵み、いつも山、海、空がありがたい。人の営みを身近に感じられてありがたい。	
		自然と共に在る事。	
		のんびりと穏やかに過ごせるところ。海がきれい。	
70歳代	男性	名瀬	生涯現役で健康で動ける間は、私的にも公的にも何らかの形で奉仕できる機会があれば感じる。
			ごちそうではないが、三食食べて、自分の足で生活出来ている事。
			友人といっしょに楽しく語らいながら、好きなこと(スポーツなど)をする事。
			やりたい事が自由に出来る。
			常に友人に囲まれ、行動したり会話が出来る事。
			集落の人の優しさ。
			社会福祉が90%行き届いている。
			畑に行く事。
			健康である事。
			まだ少しは自然が残っている事。

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
70歳代	男性	名瀬	交通手段が便利である。
			他人の「おせっかい」や「優しさ」が良いなあと感じる時があります。
			孫と遊べる事。
			四方を海や山に囲まれ、健康的。食に困る事がない。人間関係も良い。
			(奄美人ではなく)日本人で良かった。島んちゆでも良いですが。
			人。
			近くに海があること。場合によっては危険でもあるけど。津波など。
			大自然、心穏やか。
			子供、孫の笑顔を見る事。
			のんびりした時間を過ごせる事。
			まだ自然が残っている。
			高齢者への福祉が充実している。
		家族みんなが健康である事。	
		住みやすい所。	
		家族とそろって団欒出来る時。	
	住用	空、海がきれい。	
		兄弟が身近に住んでいる事。	
		災害が少なく住みやすい。	
	笠利	農薬を使用しないで、農作物の収穫が出来た時。	
		自然。	
	-	結いの心がまだ残っている事。大きな助け合い。	
	女性	名瀬	のどかで穏やかである事。
			毎日普通に暮らしている事。
			家にいて、色々な鳥の声を聞いたり見たり出来る事。自然と町が近いので便利です。
			友達が多い事。
			子供、孫が近くに住んでいるので幸せと思います。
			友達がいる事の幸福感。又、笑顔と優しさ。
			気候。
			孫たちが家に来てくれている時。夫婦で夕食をする時。
			子供達に恵まれたこと。
			本土の災害のニュースを聞くにつれ、奄美の穏やかさを感じる。
			自然が豊かで、空気がいい事です。
			現在健康であることに満足している。
			自分で野菜を作り、皆さんに分けてあげる事。
			たくさんある。
			仕事出来る事。好きな物が奄美にはたくさんある事。海の青さ、空の青さ、山。
			健康。友人、知人、親族がいる。3人の子供達、それぞれ独立し家庭を持って、孫達も健康なことが一番幸せを感じる。病気になる様、一日の生活を大事に気を付けている。
			季節を身近に感じ、周囲の人情に満たされている時。
			身近に家族、友人がたくさんいて、日常の生活に困らない事。
			自然に恵まれ、地場産の食材にも恵まれている。
自分の家があって、すぐ海が見える事。			
高齢になり、毎日がのんびりと幸せを感じています。			
田園地帯だった頃の面影もなく発展し続ける地区に住んでいて、老後は安心して暮らせるような気がするし、航空料金も安くなって嬉しいです。			
家族の健康。大勢の仲間、友人達と目標に向かい将来の夢を思い描いている時。			
海がきれいで時々海に遊びに行きます。			
自然とゆったりと流れる時間。			
10年前に「ひざ痛」だったけど今は治っているので、自分の好きな事が出来る時(例えば卓球とか)ありがたい。			
風光明媚で静かな環境の中、衣食住、不自由のない生活に幸せを感じる。			
自然(海、山)、何処へでも短時間で行ける。			
島の人々の人情。			
自然が豊かである事。友人、知人が多く、同じ感性を持った人に恵まれている事。			
美味しい物が食べられる。外出が出来る。			
日々の生活が出来る事。			
人間関係がすごくいい事。生きていくのに一番大事な事だと思います。			
奄美に子供がいる。			
住用		日々一日を何事もなく暮らせる事。	
	今日もまた家族元気で平穩に過ごすことが出来た時。		
	地元産の野菜を作って食べ、安心して暮らせる。そして、のんびり過ごせる。		

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
70歳代	女性	笠利	自然が大好き。一日でも早い世界自然遺産登録を希望します。
			食べることに不自由はしない。花に囲まれている暮らしに満足。
			すべて幸せです。
			静かな自然。
			子供や孫達と常に接していただける事。同居しているので体調を崩したりした時も心配なくいられる事。
			公民館講座に参加した時、趣味仲間と食事やお茶を楽しむ時。
			まず、現在健康で生活出来ている事です。子や孫達も元気に過ごせています。感謝です。
	-	名瀬	子供、孫に囲まれている事。奄美の人々と生活出来る事。
			孫の部活の活躍。
			近所にたくさん知り合いがいる。花がたくさん咲いている。
			身ほりに子供が住んでいる。徒歩5分で県立大島病院や県立図書館がある事です。
			自然が豊か。人情味がある。公共交通機関が集中していて便利。
		事件、災害が少ない。	
		隣近所が支え合い、助け合ってくれる事(幸せ、満足)。	
毎日健康でいる事が幸せと思います。			
住用	海の幸、山の幸が多い事。		
元気で過ごせる事。			
笠利	健康でいる事。空気がきれいな事。自由にやりたい事が出来る。満足。		
-	生まれ故郷にいる事。		
子や孫と共に、普通に生活出来る事に満足しています。			
80歳以上	男性	名瀬	子供の顔を見る時。
			家族や知人がいる事。今は幸せです。
			友人、知人等が多く、何でも語り合える環境にある事。
			食べる事。
			右腕前腕欠損していますが、生活、農耕に応じた用具を考案し、働く希望に生かされ幸せです。
			人情豊かな島民に接することが人生最大の幸せである。
			子や孫と一緒に住めることです。
			原発が無い事。米軍基地が無い事。自然が豊かで、多くの町村で昔ながらの「結い」の心が残っている。
			家族がいる事。
			健康で毎日楽しく過ごせる事。
	住用	家族健康で過ごせる事。自然が素晴らしい。	
		家族が近くにいる事。	
		幸せの島に近付いている。	
	家族が健康である事。		
	笠利	当たり前毎日を過ごせる事。	
		家族(子孫)達が集まり、顔を見る事が出来る事。	
		本土への交通機関が増えて、遠くにいる家族が来やすくなった。	
	-	子や孫やひ孫に囲まれて生活出来る事。また、周りの人々と温かいお付き合いが出来る事。	
		身内が特段の病魔に侵されない事。何事もなく、無事である事。	
	女性	名瀬	80歳過ぎて、何もいらぬ。
			クリスチャンなので、天国を目指して頑張れる事。
孫と会って話す時。			
子供が地元に残って生活している事。			
家族皆、健康で明るい家庭。			
健康で毎日を過ごせている事。			
毎日健康で生きている事。			
自立した生活が出来る事。			
幸せと感じています。			
老いても夫婦が仲良く暮らせている事。			
健康である事。			
当たり前の事として、日常が過ごせる事。			
住用	生まれ育った所で生活でき、隣近所と話したり出来る事。		
笠利	子供達と一緒にいられる事。		
	住み慣れた所にいるので満足。		
ここで遊んだり、唄を歌ったりする事。			
-	名瀬	デイサービスに行く事。	
		人々の心。	
	奄美に生まれて、友人をはじめ優しい人が多い事。		
	衣食住ほぼ満足。自宅で子・孫と同居しているので安心。日常生活に不安は余り無し。		
住用	明るいところです。		

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住 地区	意見
80歳以上	-	笠利	のんびり暮らせる事。
-	女性	名瀬	紬を織るのが好きです。
	-	-	周りとの絆がある。



(13) 日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？

日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは、以下のとおりとなっている。

なお、「問2 あなたが、日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか」（自由記述）に記載があった全てを原文のまま記載している。

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？〕

年代	性別	居住地区	意見		
10 歳代	男性	名瀬	旅費が高い。 自然が壊され、ビルが建ち、自分達に分らない所で国や市が色々やっているところ(自衛隊問題等)。 色々あった時。 お店が少ない。		
		住用	バスの時間が合わない(少ない)。補助金をもう少し多くして欲しい。		
	女性	名瀬	自分の意見がわかってもらえない時。 せつかくの高校時代なのに、島外の高校生の様に遊べない事。 交通手段が限られる。遊び場が少ない。 島外にあるようなお店が少ない。 遊ぶ場所があまりない事。 物品などの値段が高い事。お店やショッピングモールが少ない事。		
		住用	大学、短大が少なく、レジャー施設も少ない。		
		笠利	近くにお店が少ない。車が無いと買い物に行けない事。 近くに店がない。交通が不便。海が少しずつ汚くなってきている。 交通面では不便を感じる。洋服や雑貨の多さや値段は、鹿児島に比べるとまだまだだと思う。		
	20 歳代	男性	名瀬	観光客のごみのポイ捨てが多すぎる。 酒が飲めないの、飲み会が辛い。 海で隔てられている為、本土にすぐ帰れない。家族向けの公園遊具の不足。飛行機キャンセルが一度でも出ると影響がしばらく続き、飛行機が取れない。	
		女性	名瀬	周りにお店がない。ショッピングモールがあってほしい。映画館が出来て欲しい。 同じ職業でも、内地と給料が全然違う所。 天候に左右される。室内での遊び場や大型遊具のある公園が少ない。 遊ぶ所が少ない。 若者(私達 20 代～30 代)の希望する仕事がない。希望する仕事が無い事と、給料が安い事(手取りが異常に安い)。特に障害者の給料が異常に安いのはアウト。怒。 人が少なく(職場が人手不足)、負担が大きくて辛い。給料も安い。 どこも人手不足。給料も少ない。 欲しいものがネットでしか買えない時。 公共交通機関利用に際して、本数が少ない。 課題をする事。実習に行く事。 生活保護受給者が多いように感じる。また、長寿と言っているけど、高齢者に対して住みやすい街なのかと思う事が多い。 バスの不便さ(時間通りに来ない、最終バスの時間が早い)。	
			住用	人付き合い。 皮膚科の病院が少ない。あまり病院の先生が良くない。仕事がない。家が少なく。給料が少ない。電車が あって欲しい。 スーパー、コンビニが遠い事。	
			笠利	集落ごとに考えると、若者の数が少なく、行事などに積極的に参加したいとは思いうけど、「若者が一人」と考えると勇気が出ない。	
-			子供をいきいきと育てるための施設や人材が足りないと思います。		
-			住用	人が少ない(特に若年層)。	
30 歳代			男性	名瀬	住宅が古い。床が外れそう。せまいです。 経済的な余裕がない。満足感はない。 野菜の値段が高い。子供の遊び場が少ない事。 医療。 交通が不便すぎる。道路が少ない。 保育施設の充実(規模拡大等)。子供達の不幸なニュース。 生活水準が低い。 奄美は娯楽施設が少ない。 島は子供が遊べる室内施設が少ない。 地元の間人と、仕事で来た人間の不平等感。

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見			
30 歳代	男性	名瀬	小・中学校の宿題がない、または少ない事。本島の子供達との学力差が大きい。また、小・中学で宿題をする習慣が身につけていないため、高校でついていけない子供がいる。高校になって宿題や勉強をしなさいと言っても、小・中 9 年間の習慣を 3 年間で直すことは難しい。 身体がきつと思います(仕事をする時に)。 遊ぶ所が少ない。			
		住用	移住者ですが、経済的に食べていくのが厳しいです。仕事や生活賃金ギリギリの生活です。 子ども達が遊べる場所が少ない。公園等増やしたり、遊具を修理して欲しい。			
		笠利	子供が快適に遊べるような屋内施設が少ない。特に名瀬以外の地域。子供は大人と違い体力もないので、炎天下で長時間遊ぶようなことは出来ません。予算もあると思いますが、どうして後回しになってしまうのかなと思います。ただ、奄美群島全域で、30 歳代の女性の人口が増えてきているとも聞きます。より、子供を産み育てやすい環境を作るためにも、屋内施設が充実していると大変嬉しく思います。			
		女性	名瀬	すぐ渋滞するのが不満。病院が少ないのも不満。 医療機関が少なく、病院を選ぶことが出来ない事が不満です。あと、古い公園の遊具を新しくして欲しいです。 健康ではない事。 映画やスポーツなど、気軽に遊べる所がない。女性や若い人がトップにいない(少ない)。 税。国保、市税。 収入が少ない事。 家賃等高いのに、お給料が少なすぎる。 娯楽が無い。行く所が無い。子供が楽しめる場所が無い。台風などの度、品物が無くなる。本土と比べて良い所が一つも無い。とにかくつまらない。給料が安くて物価が高い。 耳鼻科を増やして欲しい。選択肢が無くて困っています。 物価が高い。仕事が無い。 もう少し、食材が揃っていると良いなと思います。 時給が安い。 島外からの知人、友人などが来ても晴れていないと自然と遊ぶことが出来ない。雨や台風などの時に対応出来る場所が各所にあると良いと思う。 仕事に対して、奄美の将来について、自分たちで限界を決めてしまっているように見えた時。 仕事が無い。介護の支援が少ない。もっと介護する側の立場に立って保障して欲しい。若者に希望を与えられる未来を切に願います。 道が狭く、駐車場が少ない事。住宅の老朽化が進んでいる事。 何をしても「島だから」と言い訳されること。 子供が雨の日に遊べる施設がない。もっと屋内施設を充実させて欲しい。 田舎は若い世帯が住むための道路が整備されておらず、過疎化になっていく事。 送料無料にならない事が多い。服を買う所が無い。家具を買う店が無い。古い物件の家賃が高い。子供が遊ぶ所が少なすぎ。プールを運営して欲しい。 自由な時間や空間が無い事。		
			住用	子供たちの遊ぶ場所が全くない 子供の遊ぶ場所の無さ。車での移動が不便。PTA と婦人会の両立が大変。 離島格差を感じる時に不満に思う。 自然がいっぱいはいいけど、子供が遊ぶ公園がない。遊具の使い方、公園でのルール等、身につかない。台風などで食料が手に入りにくい時がある。		
			笠利	集落の行事に参加するのがきつい。 子供が自由に遊べる所が少ないし、医療費を先に出さないといけない。お金が無い時に病院に行けない。 休日に子供達を連れて遊びに行きたいと思う所が少なく、お店も早く閉まってしまうところ。		
			40 歳代	男性	名瀬	健康ではない時。 収入と道路。 思い通りにいかない時。面白くなくて、やる気が起こらない時。 金銭的な事。 国民健康保険税が高い。 自分の頑張りが、周りの人に認めてもらえない時。 専門的な店がない。 野良猫が目につく。何とかしてもらいたいです。山にゴミを捨てる事を止めさせる方法を、行政で考えてください。土木工事も、自然破壊の無いようにもう少し知恵を出してください。 障害者の働く場所が無い。収入を得る方法が無い。 温泉が無い。 賃金が安い。

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
40歳代	男性	名瀬	妻。
			奄美の人は自分勝手に、自分の事を最優先にしている人が多い。ゴミのポイ捨ても多すぎて嫌になる。
			発作が出た時。
			旅行で奄美を訪れる場合は魅力的だと思いますが、子供の大会等、台風のため延泊になることが不満。レジャー施設も乏しい。
			交通の不便さ、他多数。土地が高すぎる。家を建てようにも難しい。
			野良猫の対策を新聞等でアピールしているが、実際には柳町等餌付け等している人を見て見ぬふり。市の職員も把握しているのにも関わらず、「本人には言っているんですが。」と何の対策にもなっていない。それでは、世界自然遺産なんて机上の空論。
			まだ5ヶ月しか住んでいないが、本土より民度が低いと感じる。具体的にはマナーが悪い。他人に迷惑をかけても平気。入れ墨、柄の悪い人間が多い。多くの観光資源を持ちながら、人が一番残念。
			買い物为天候次第。
			送料が高い事。各項目において、なぜそう思うのかを問わなければ、このアンケートが役に立つとあまり思えない。結果が出て、その先につながらないような気がする。
			独身である事。
	奄美の市長が「ひいき」無しの仕事をして欲しい。「いなか」などに目を向けて発展させて欲しい。		
	女性	名瀬	親戚関係がうまくいかない事。
			旅行が出来ない。
			バスの本数を増やして欲しい。
			色んなものの購入を、ネットに頼らなければならない事。運搬料がかかる事。賃金が安いにもかかわらず、品物の値段が高い事。専門医の不足。
			近所に川があるのに、安全の為に子供だけでは遊んではいけない事。自分が子供の頃はよく川で遊んでいたのに、今の子供たちは不憫に思う。
			小学校、中学校の私立が無い事。小学校にクーラーがなく、毎日暑すぎて子供が疲れている事。
			アミューズメントパークなど遊ぶ所がない。
			自衛隊の占有。低労働の賃金。役場等公営施設の管理や事務処理が適当。夜間オスプレイ等軍機の騒音や振動。
			仕事が少ない。低賃金。
			適当な所。
		遊ぶ所がない(自然しかない)。	
		離島である事の不便さ。子供達の遠征費等の負担。給料、賃金の低さ。全然瘦せない。	
		病気、ケガをした時に担当のお医者さんが常に島にいない。	
		奄美は賃金が安いのに物価が高い。魅力あるショップやレストランが全く無い。	
		メンタルの病気があるので、すべて不安。特に生活、お金の不安。	
		仕事が思う様に出来なかった時。	
		物価が高い事。移動するのに費用が高つく事。いろいろな選択肢が少ない事。本屋が少ない事。	
子供達が成長すると島外に出て行って帰ってこなくなる。			
娯楽が少ない。転入してきた人の交流の場があればいいなと思います。			
仕事がない。非正規雇用ばかり。コネがないと働けない。			
台風時に食品がなくなる事(仕方ないけど)。			
賃金が安くて医者にもかかれないぐらい生活がきつい。			
旦那が家の事を全然しない事。散らかす事。			
給料が安い。税金が高い。家賃が高い。物価が高い。			
給料が少ない。公務員との格差に不満。			
住用	医療機関や短大、大学、福祉、教育の場の充実が、本土と比べ乏しい。		
	若者の減少に不満。		
笠利	医療、福祉施設の体制が都会と比べると遅れている事。		
	地域性が強い所。		
	自分が不幸とかは思わない。自然で遊ぶのも楽しいが、子供の遊ぶ所が欲しい。都会という遊園地的なもの。独居の年寄の方で、家で生活が難しい方の生活の場がない。病院や施設にも入れない老人が多い。		
	自然を壊してまで観光客を呼び込もうとしている動きがある事。		
	自分なりに日々の家事、仕事、ご先祖様のお墓参り、集落行事・・・頑張っているのに、「性格が悪い、年上の人」が幸せそうに、うまくいっているように見える時。「不幸だな」と思います(個人的な意見で申し訳ないのですが、正直な気持ちです。)		
車がないとどうにもならない生活。不便すぎます。年を取ってからが心配。			
年を重ねるごとに、税金が多くなる事に不満を感じます。			

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見			
40歳代	女性	笠利	島は雇用主が地元の人の場合が多く、昔の考え方を変えず、所得も少ない事。物価は上がっているけど、所得は変わらず、いい生活(余裕のある生活)が出来ているのは公務員のみ。休みも多いしうらやましい。 高校が少ない。大学が無い。給料(給与)が少ない。 病院が少ない、遠い。物価が高い。			
	-	名瀬	飲食店がほとんど喫煙席で、今時あり得ない。残念。町もタバコやゴミが捨てられていて、悲しくなります。一人一人の意識改革が必要だと思います。 賃金が安く、生活が苦難な事。 世間が近い事で小さないざこざが絶えない。また、島で育つが故に日々の愛情が深い為、広い世間で受ける不幸(不平等)が不幸となる事。不満ではありません。			
50歳代	男性	名瀬	高校、大学とお金がたくさんいるのに、児童手当がなくなってしまう事(不満)。 働いても働いてもお金が足りない事。 公共交通機関等。子供、大人が利用できる娯楽施設がない。 物価が高い。気軽に旅行に行けない。 余暇の使用を持て余す時。 失敗や大けがをした時。 戦略がない。 物価が高い。職種が少ない。 家賃が高い。 昔にこだわりすぎ。奄美市の考え方が時代遅れ。生活が苦しい。賃金が安い。 仕事(賃金が低い)。 働いている分と給料が割に合わない事。 市税等の支出が大きい。進学する子供の学費負担が大きい。 今でも公務員様様の風潮があるように感じる。いつまでも道路工事が終わらない。 各集落ごとにある、色々な習慣や文化がおそろかになりつつあること。若い人たちの都会化、集落離れ等。 市街地の路上駐車がが多い。 お金が無い時。 暑い。 東京や鹿児島に出張等で行った時に、一挙集中で人の多さ(人口問題)、都市開発等(ソフト、ハード両面)の格差を感じる事。 行政(市長)と自然破壊。 大義に生きる姿勢が不足している。社会認識の貧困。 疲れが取れにくく、気力が充実しない。レクリエーションの場の不足。 将来にあまり明るい希望がない。 家族と離れている事。 高層ビルが多すぎる。海、港、船が見渡せられる景観の良い街づくりをしたほうが良い(特にマリントウン計画)。 老後を一人で過ごすことに不安を感じる。 奄美は情に厚いと言われていたが、最近は薄く感じられます。 職場でのストレス。			
			住用	交通の不便さ。		
			笠利	子供が島外にいるので、たまにしか会えない。 台風が来ると物流がストップする。 医療。 物価が高い。医療機関が遠い。ショッピングセンターがない。 教育の程度が低い。世間が狭い。		
				女性	名瀬	台風で食料がなくなる事。 交通の便が悪い。遊ぶところが少ない。都会との給料差等。 家族がケガや病気をした時。 動物病院が少ない。 これといってない。 子供達があまり自由ではないと思う事(これは奄美に限ったことではないのかもしれませんが)。 家賃がとても高い事。物価が高い事。老後が心配。 お年寄りのバス券をバスカードにして、どこからでも乗れるようにしたらよいかと。 遊べる場所が少ない。 離島の為、島外に行くための時間、計画を立てるのが難しい。台風の影響など。

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
50 歳代	女性	名瀬	老後の事(お金)。
			子供が進学で離島する事。
			教育費(高校、大学)にお金がかかり過ぎる。未だに車の中からポイ捨てをする人を見かけると悲しくなる。こんな事では世界自然遺産等望めないと思います。ゴミの分別の意識が低い。もっと地産地消出来るように、特産品店などを作って欲しい。農業に力を入れていったほうが良い。
			街並みに「余裕」がない。周囲で他人の噂話が多く、「島は小さいな」と感じてしまう。仕方ない事だとは思いますが。分譲マンションがほとんどない。
			ショッピングを楽しむところがあつたらいいなと思います。
			健康に自信がなくなる時。
			物価や給与面で、奄美は低所得者が多い。
			病院に行った時の待ち時間が長い事。
			自然を守ろうという意識が低い島民が多いように思う。ゴミのポイ捨てが見られる。家族や知り合いには甘い、本土の人に対して偏見があるように思える。サービスが悪い。接待が悪い。衛生が不十分(ホコリを見かける)。スーパーなどで、賞味期限切れなどが置いてある(一か所ではありません)。車で観光地巡りをする際、目的地までのわかりやすい道路標識が無い(あと何kmで〇〇みたいな物。車で何分後、徒歩で何分後に着くなど)。ウエストコートホテル前、横バス停に遠目からでも、ここが空港行きのバス停だ、とわかる看板が欲しい。よく、ここでいいのかと迷っている観光客を見かける。結局乗らなかった人も見かけた。バスの運転手の人もバスの周りの人達に出発前に声をかけるようにして欲しい。「空港行きの方はいらっしゃいませんか?」など。
			親の年金が少ないので、多少援助しているため。自分の生活に支障が出ている。色々節約、我慢する事が多い。楽しくない。
			夫は殆ど家事をしないのに、細かいところに文句を言う事。
			働く環境も悪いし、給料も安い、ダメな会社が多い。
			税金が高すぎる。まあ、それだけの収入があるので仕方ないですが。
			若者が仕事を得られずに島外へ出るため、島に活気が無い。
			子育てが一段落した頃には、正社員としての雇用が少ない事。
			公立校の施設、設備、備品の不足。航空券が高い。
			将来の生活を考えると、預金や介護人について不安。
		親の介護。	
		今は仕事も充実していますが、60 歳過ぎたら新しい仕事を探さないといけない(子供が学生の為)。母子家庭の手当てを充実させて欲しいです(生活は厳しいです)。	
		賃金が安すぎる。ブラック企業が多すぎ。	
		税金が高いと思う。	
		仕事のわりに給料が低い。世界自然遺産登録への働きかけ。	
		政治。	
		離島なので子供の進学にかかる費用が大きい。	
		若者の仕事先が少ない。観光施設が少ない。	
		学校の中、仕事の中でも公正さが無く、身内感覚で物事が進められる事。子供を奄美で働かせたいと思えない事。	
		仕事が無い事。U ターン者には職探しが大変です。	
人の考え方が小さい。狭い。噂好きでなじめない。			
住用	自分の意志が相手にうまく伝わらない時。		
	他人に干渉し、悪口を言う人がいるのが嫌です。		
	奄美はハブが生息しているが、道路上の草が生い茂って危ないと思う。もっと定期的にきれいにしたい(草刈り)。		
	不便な事。		
	集落行事が多い事。		
笠利	マンゴーのハウスからの臭い(悪臭)がある時は不快を少し感じる。近所迷惑である。		
	税金が高い。介護保険料なども。生活保護を受けている方が、病院、リハビリなどに頻繁に行っているが本当に必要なのか。普通に生活している我々は、少々の事なら我慢しているのに。汗水流して支払いしている税金を無駄遣いして欲しくない。		
	早朝の集落放送がしつこく、うるさい事。		
	若い世代の働く場所が少ない。		
-	名瀬	医療関係があまり良くない。鹿児島本土まで病院に行かれる方もいるようです。お店が少ない。選択肢が少ない。	
	笠利	不正な事を行う上司や、公務員などがいる時。税金がふさわしく使用されていないと感じる時。	
60 歳代	男性	名瀬	青色の魚類が多く獲れたらいいと思います。
		子や孫が本土から帰省する際の旅費(運賃)が高い事。	

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
60歳代	男性	名瀬	奄美沖合の海砂採捕に許可を与えている事(県庁を含めて)。大いに不満。現在、採捕区域以外でも海砂を捕っている業者がいる。大和村のヒエン浜、住用沖の砂浜が消失した。世界自然遺産登録に向けて、大いに問題あり。きれいな砂浜が岩場と化した。市は現状をどう考えるのか。
			最近、市の職員が住民に対して横暴である。
			高度医療が受けられない事。物価が高い事。交通費(航空運賃)が高い事。
			国民健康保険税が高すぎる。
			年金で生活できるか。
			収入が少なく、貯蓄があまり出来ない事が不満に感じます。
			現在の収入および子供の将来。体調管理。
			妻の健康状態が悪い。
			借金があり、経済的に厳しいと思うことから交際が出来ない。
			規則ばかりで自由が無い。コネクションの島です。平等ではない。
			離島格差。政治の不平等。
			若者に幸福感を与える事を考えて欲しい。
			賃金が安い。物価が高い。
			仕方ない事ではあるが、天候不順(台風等)が多く、交通(飛行機)がストップしたりして、予定が大きく狂う事。
			医療関係がたくさんある割に、中身が無く、信頼できる病院が無い。昨年暮れから今年始めにかけ体調を崩し、実感しました。医療関係者の質の向上を望みます。
	1年半前、40年ぶりに帰島しましたが、物価が高い。島であるがゆえの不便さもありますが、概ね楽しんでおります。		
	物価が高い。ガソリンが高い。交通機関が不便。		
	道路へのゴミのポイ捨てが目立つ。		
	公共の工事(箱物を含んで)を減らして別の事に税金を使って欲しい。		
	被害の大きい災害が奄美で起きた場合、離島ゆえの救援の遅れが怖い。十分な休日が取れず、仕事の疲れがたまっていくばかりである。医療機関で納得いく対応が得られず、わざわざ鹿児島市内の医療機関を頼らなければならない事は大いに不安である。		
	経済的に厳しい。賃金が低い。		
	体調が悪いので、満足していない。		
	仕事が無い(思うような)。		
	病気である事。		
	老後が不安。仕事が出来なくなることが不安です。		
	若者(子供達)が帰りたくても良い職場、仕事が無い事。直に文化、芸術に触れる機会が少ない事。		
	ガソリン代が高い。		
	住用	仕事が無いので、若者が定住しない。行政は地域住民の意見を大事に聞いて欲しい。	
	笠利	一人である事。	
		生活が大変。ギリギリ。	
若者の仕事。生活面での収入が少ない。			
女性	名瀬	交通の不便さ。プライベートがあまり守られない事。	
		子供がせっかく帰ってきて仕事をしているが、給料がやはり低い事。	
		高齢になるにつれて、心配が増えます。生活が苦しくなっていくのではないかと。	
		税金が高い。物価が高い。企業が少なく、就職先が少ないため、収入が少ないのに出費が多い。島外への交通費がとて高い。	
		借家なので、自由に動物が飼えない事。	
		親子と一緒に居られない事(就職の関係で都会に行ってしまう)。若者の、地元での就労が少ない事が残念です。労働賃金が都会に比べて少ない。	
		台風で船便がなく、鮮魚食品が足りない時。	
		税金が高い。交通費が高い。物価が高い。	
		ゴミに関する事。交通マナーがなっていない。一人ひとりの心がけがなっていない。大きな企業がないせいか、若者が島外へ流出している。	
		名瀬は収入のわりに家賃が高いので困っています。	
		医療関係等、離島ならではの事。県病院の医師は経験不足や診療が苦手な人ばかりではないか(受診した際、質問しても分からないと言われたことがあります)。野菜やガソリンの価格が高い事。不満というより、不便ですね。	
		海が養殖で汚れている。	
		車の運転が出来なくなった時、交通の不便さを感じます。	
		都会にいる子供達に会いに行く時に、船や飛行機に乗らないと行けないという、へき地離島が辛い。	
		交通マナーの悪さとゴミの持ち帰りが出来ない事。	

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見	
60歳代	女性	名瀬	不幸も不満も心の問題だといつも自分に言い聞かせています。	
			交通費や輸送費が高く、物価が高い。ゴミ出しや地域の清潔さ(犬や猫のフン等)のマナーが悪い。奄美の特産品のタンカンやマンゴーを作っている農家が、もう少し儲かるようにして欲しい。	
			観光以外、これといった産業が育っていない。若者の地元での仕事の選択が出来るようになって欲しい(企業誘致)。	
			年金だけでは税金とか払いながら普通には生活するのは難しい。	
			福祉の充実にもっと力を入れて欲しい。	
			定年を迎えて、シニアが終わった後の仕事が無い事。今の70歳は元気だと思う。シルバーの登録ではなくて、半日、4H等良いと思う。日当で川のそうじ、公園の掃除などさせて欲しい。	
			子供達が就職できる場所が少ない。自然だけでなく、遊べる場所が欲しい。	
			値段の高い割に、食事は全く美味しくありません。	
			経済。物価が高い。	
			相談とか話を本気で聞いてくれる人がいなくて淋しさを感じる事。	
			家賃が高く、子供を育てるのが大変です。住宅などを増やして欲しい。	
			家の周囲(道路)で食事をする方がいますが、ゴミを置いていく事。	
			今後、年金で生活できるか心配です。	
			分からない。	
			税金が高い事。	
			都会のように娯楽、遊ぶ所もなく、自分の島が良い島とは思わない。	
			日々の生活でのトラブル。	
			子供達が学校を卒業しても希望ある仕事が少ない事。大学が無い事。	
			買い物少し不自由な事。	
			60歳定年が多く、なかなか仕事が見つからない事。	
			賃金が低い。	
			仕事量と賃金の格差。	
			きれいな自然に恵まれているのに、人をだましたり根性の悪い人間が育っている事。物を借りて返さないという人間の基本から外れている。	
			色々な、不幸なニュースが多い事。	
			自然は魅力ですが、無駄な道路ばかり作り、市内に人が留まる工夫がされていないので将来が心配でなりません(有料駐車場ばかり)。	
			住用	病院が遠い。車が運転できなくなった時の生活が怖い。
				現在、健康であるから不幸、不満は感じないが、体が不自由になったら不満を感じるかも。
	体が多少不自由(足が悪い)になって、行動範囲が狭くなったことです。			
	離島格差を感じる。島民一体となった行政の動きでない事(無駄無く、市民が助かる時間に連絡を密にして取り組んで欲しい)。			
	島の大きな企業になると、昔のヤンチュー制度的な名残があり、安い賃金で時間外も働くことを強いられたり、専門外の仕事も当然のようにさせられている事。			
	養殖場はいらぬ。			
	笠利	働く場所が無い。子供の教育施設の場を充実させて欲しい。		
		子供達が都会にいますので、空港の便が増えて欲しい。コンビニが少ない。		
医療機関や福祉を利用しすぎている所。自分の体は自分で守る。自覚に乏しい。				
表面的な付き合いは出来ても、心を許せる絆を作りにくい。将来的に買い物難民になる恐れあり。				
災害が多いニュースなどを耳にする時、地域は大丈夫なのだろうかと不安になる時がある。もっと地方にも予算があれば、ここはどうにかありませんかと思う。				
笠利支所の対応がいまいち悪い。不親切な車が割とある。予算の使い方に疑問が多い。市への疑問や問い合わせを気軽に出来る窓口がない。上への要望とかが伝えられない。以前住んでいたところでは、市長への手紙の投稿ポストが市役所、支所、公民館などに設置されていて、その質問に対しては必ず返事が広報や書面で来るシステムになっていて、とても良かったです。行政と市民が近い感じがしていました。もっと、私達の声を伝える、伝えやすいシステムを作って欲しいです。何かにつけて、一方的な気がしてなりません。神奈川からUターンして6年目です。				
交通、買い物など、のんびりと落ち着いて出来ない。隣近所について干渉しすぎる。				
自分の体が思う様に出来ない事。				
生涯学習に通うバスがあると良いです。				
近くに病院が少ない。				
-		名瀬	公共交通機関、空き家対策の遅れ、情報発信力。	
			文化、経済、農業等が遅れている事。高齢化と子供の減少。	
			自分を含めて、多くの人が時間とお金に追われて日々を過ごしているように感じる事。	
			タバコのポイ捨て。	

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
60歳代	-	名瀬	地縁、血縁の結び付きが濃く、本土から来た人間を差別している(差別を受けた)。視野が狭い。 台風が来ると、品物が少なく大変。喫茶店が少ない(友人とお茶するところが少ない)。
70歳代	男性	名瀬	受動喫煙の防止対策を早期に講じて欲しいと感じる。
			毎月の病院通い。
			老老介護に陥るかもしれない事。
			高齢者の遊ぶところがない。風呂、温泉もない。鹿児島本土に転職した人が帰ってこない。
			高齢者の為の介護施設を増やして欲しい(特老等)。
			奄美の市民の心の狭さ。
			世界自然遺産登録について、行政から市民への呼びかけが若干薄いと思う。市民はもう少し行政に協力するべき。
			若い人が仕事がない。少ない年金が減額される事。
			母の介護の為に外出出来ない。
			個人個人の問題とは思うけど、ゴミが散らかっている事(バス通りなどで)。自衛隊の基地があったら、子や孫の世代は安心できません。
			人間関係が煩わしく、窮屈でたまらない。
			ゴミ捨て等、マナーが悪い。都会と同じような医療が受けられればいい。
			物価が高い。給料が安い(時給)。
			公務員や市議会議員が権力を振りかざしているような時は不満です。
	政治家の言動には不満がある。		
	妻が亡くなり、独りぼちな事。		
	不幸、不満とは言わないまでも、税金の無駄遣いを止めて欲しい。若者をはじめ、弱者に寄り添う税金の使い方、行政の在り方であれば老若男女幸福を感じるのでは。		
	昔は心の通じる人々が多く思えたが、現在は隣の人との会話も悪くなった。		
	子供達が動ける場所が少ない。		
	年金生活だけど、年金額の割に介護保険が高い。		
	生活が厳しいが年齢的に仕事が無く、アルバイト先も少なく、今では遊びがち(年金が月6,000円)。		
	2人の子供が身体障害者で、将来私自身に不安です。		
	福祉面が不満。公共事業はハードが多く、ソフト面が少なく感じる。		
	病気になり、思う様にいかない。病院が思う様に選べない。		
	災害に弱い町村である(特に雨に)。		
	子供達の収入が低い。		
	病気になった時。		
住用	-	-	流通の便が悪い。都会に比べて交通運賃が高い。若者の生活が定着しない。住みにくい。
			二男に嫁が来ない(43歳)。
			若い人が少ない事が不満。
笠利	-	-	住環境について。車エビ養殖場による、国立公園に指定された干潟の汚染が心配。
			選挙。
女性	名瀬	-	経済的に不安。年金収入で孫(同居)の面倒を見たり、夫が認知症と糖尿病で病院代が高く、毎月赤字です。東京に住む長女(44歳)の友人が奄美が大好きで年2回も訪れます。とても嬉しいのですが、お金がかかります。
			近所の猫が家に入ってきて困る。家の周りにフンをしたり、マーキングしたりして臭う。
			病院等の待ち時間が長い事が不満に思う。
			奄美の林道を通る時(「ゴミを捨てるな」等の看板がない)。
			町に清潔感が無いように思う。ゴミのポイ捨て等。
			老老介護。友達も老人をみているから大変です。
			健康でない。
			自治会活動が活発すぎる。
			生活していく上で、物価が高い事。
			子供が島外で仕事をしている事。島で仕事をしたいのに仕事がない。
			最近の子供(若い子)達はどこに行ってもスマホをいじっている。とても淋しいです。
			高齢者の憩いの場、娯楽が無い。
			島外から引っ越してきた人には親切であるが、ボランティアの気持ちが薄い。
			年金が少なく、楽しい事が出来ない。
			大型船の着く商店街での公共のトイレの不足を感じました。
			バスが無料になれば、外出が多くなり、健康で長生きできるのでは。
			お金が無い時。色々な「猫」が来て、フンをされる時。
			事情により、子や孫に頻りに会えない事。

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
70歳代	女性	名瀬	介護保険料が高い。
			離島の為、天候で交通が欠航になったり、品物が来なかったり、輸送費などが高つく事。
			奄美に自衛隊の基地はいらない。自然が破壊され(飛行機の騒音も)、常に警戒心を持って生きなければならぬから。
		創生総合戦略を策定(H27.12)とあり取り組みが始まる・・・この事を知らなかったこと、残念でした。	
		将来運転が出来なくなる時のことが心配です。買い物や用事の時。	
		子供が4人もいるが、1人も島に残っていない事。	
	住用	不満は、思う様に自由に歩き回れない事(杖を使つての歩行の為)。	
		年を重ねるごとに夫婦とも身体は弱る。生活費に不安をおぼえる。	
		年のせいか、体調を崩した時はいらいらします。	
	笠利	Iターン者を受け入れるのは良いが、地元への協力を行政が指導すべきです。	
		後期高齢者になって、年金が減っていく事。	
		不幸を感じることはない。	
		住民の物事に対する無関心。	
		同年齢の方々ともう少しゆっくりくつろぐ事ができたらいいなあ。	
-	名瀬	どこに行くのにも、車が必要。もっとバス等の便を増やして欲しい。	
		島の環境にふさわしくない施設(基地)、山を削る事など市民の知りえないところで何か動き出していると感じる。	
		生活が楽にならない事。年金生活者よりも生活保護受給者が楽にしている事。	
		身体不自由。生活苦。ライフライン支払いに涙。自給自足も時間の問題です。涙の訴えも全く聞かずに(担当者が変わった為)。財政の厳しい奄美市、老後の恐怖だけ。笠利町時代は良かったです。一日の長さがとても辛いです。苦言ばかりでごめんなさい。人生の終わりを待ただけ。	
	住用	身勝手な人が少なからずいる事。他人の迷惑を考えないゴミの不法投棄、猫等の外育て、犬のフンの始末の悪さには閉口です。道徳教育に組み入れられる様にして欲しいと思います。	
		物価が高い。	
		保険料(すべてが高すぎる)。物価が高く、しかも台風シーズンは物が無い。高齢者所帯が多く、集落の活性化の為の後継者もいないし、若者もいない。	
		収入が少ないことが不満と思います。	
80歳以上	男性	住用	オスプレイの夜間飛行(PM11:00)。自衛隊の基地はいらない。そのうち集落に落ちてくるかもと不安。
		笠利	たまに名瀬に行きたいけど、バスが目的地まで行かない。一人暮らしなので、中々買い物が出来ない。
		-	自分に対してあり得ないことを、相手が分かってくれない事。
	女性	名瀬	観光産業の開発、拡充、整備をもっと強気に推し進めて欲しい。
			市町村長、議員の自治意識がなく、お国の事には無条件で従う。戦前の国家統制時代に帰りつつあること。
			介護負担大きい。
		住用	身体が思うように動かない事。
			受診や買い物不便(車が無い、バスの便が少ない)。
			年を取る事により、歩行が困難になってきた事。
			大学まで行って卒業しても就職先がなかなか無い。物価が高い。何か補助があれば。
-	名瀬	身体が思う様に動かない事や、耳が遠くなりコミュニケーションが取れない事。	
		実家に帰りたいです。	
		病気で体が思うように動かない事。	
		福祉関係の充実を望む。	
		子供達が島外にいる。一番近いのが鹿児島市。	
住用	体力に限界あり(86歳)。		
	介護保険料が高い。		
	一人暮らしはいつも不安。		
-	名瀬	一人暮らしはいつも不安。	
		遊び、趣味が限られてくる。遊ぶ所が全く無い。	
		一人でのいる事が不満に感じます。	
		野生動物を大事にしない。思いやりなし。	
-	名瀬	奄美の人は優しく悪い事を悪いと言えない(特に業者に対して)。生活改善に乏しい。	
		年金生活ですが、病気やけがで入院すると、ほとんど年金が消えてしまう。医療費が高い。	
		高齢者の居場所。	
-	-	笠利	物価が高いところ。
		-	離島なので、病院受診に交通費がかかる。

(14) テキストマイニングによる「幸せ」や「満足」と感じること、「不幸」や「不満」と感じることの分析

テキストマイニングとは、通常の文章からなるデータを単語や分析で区切り、それらの出現の頻度や共出現の相関、出現傾向などを分析することで有用な情報を取り出す分析方法のことである。(12) 日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じること、及び(13) 日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることについて、テキストマイニングで分析した。

次頁のワードクラウド^{※1}は出現回数が多い(多くの人が回答・挙げた)言葉を抽出し、その値に応じた大きさを図示している。名詞は青色、動詞は赤色、形容詞は緑色となっており、共起回数は、文章中に出現する単語で、隣接して出現する回数が多い組み合わせを上位から表にして示した。

「幸せ」または「満足」に感じることについて、29年度では、「自然」や「過ごせる」、「子ども」、「家族」、「豊か」、「気候」等の単語の出現回数が増えており、共起回数では、「自然 豊か」が最も多く、次いで「健康 家族」、「できる 生活」、「気候 温暖」、「幸せ 感じる」等の順となっている。今回の調査(30年度)でも同様に、「過ごせる」、「自然」、「豊か」、「温かい」、「家族」、「出来る」等の単語の出現回数が増えており、共起回数では「自然 豊か」と「出来る 生活」が最も多く、次いで「健康 家族」、「幸せ 感じる」、「感じる 自然」、「出来る 奄美」、「美味しい 食べる」等の順となっている。また、スコア^{※2}の上位を比較すると、1位は「自然」で変わらず、「子ども」や「豊か」、「家族」といった上位の単語は順位に変動はあるものの10位以内に入っており、豊かな自然や温暖な気候といった奄美ならではの環境の中で家族が健康で過ごせる(生活できる)ことを幸せと感じる人が多いことがうかがえ、その傾向に大きな変化は見られない。

一方、日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることについて、29年度では、「少ない」や「物価」、「高い」、「子ども」、「交通」等の単語の出現回数が増えており、共起回数では、「物価 高い」が最も多く、次いで「子ども 少ない」、「場所 少ない」、「すぎる 多い」、「不便 交通」、「仕事 少ない」等の順となっている。今回の調査(30年度)でも同様に、「少ない」、「物価」、「高い」、「不満」、「賃金」等の単語の出現回数が増えており、共起回数でも「物価 高い」が最も多く、次いで「仕事 無い」、「子ども 遊ぶ」、「不満 感じる」、「安い 賃金」等の順となっている。また、スコアの上位を比較すると1位「物価」、2位「少ない」、3位「不満」の順位は変わらず、最も不満に感じているのは物価に対してであるが、「賃金」や「給料」のスコアが29年度と比較して高くなっている。

※1) ワードクラウド: スコアが高い単語を選び出し、その値に応じた大きさを図示したもの。

※2) スコア: 文章の中でどれだけ特徴的かを点数化したもの。通常は単語の出現回数が多いほどスコアが高くなるが、「言う」や「思う」等、どのような種類の文章にも現れる単語についてはスコアが低めになる。

ツール: ユーザーローカル テキストマイニングツール (<http://textmining.userlocal.jp/>)

〔29年度〕 日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることのワードクラウド

〔共起回数 上位〕



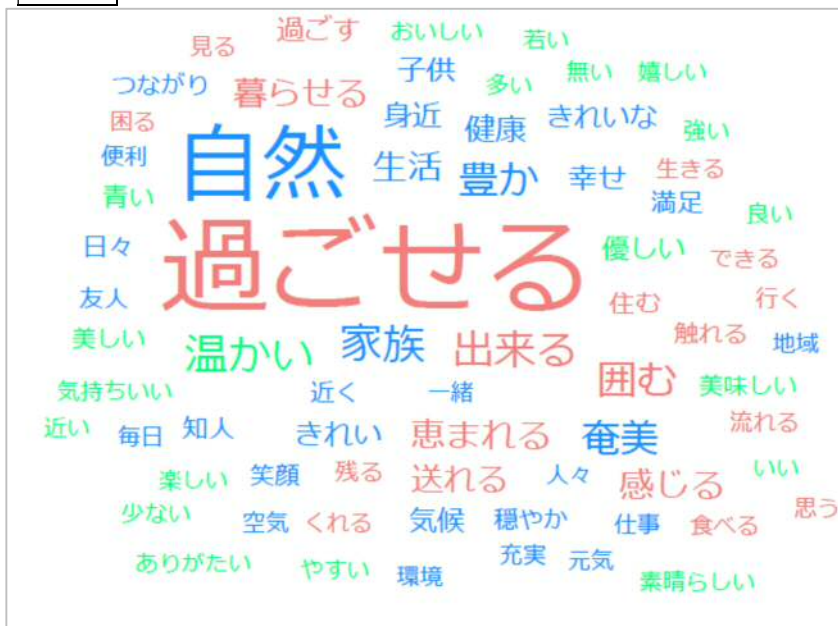
	単語1	単語2	共起回数
1位	自然	豊か	40
2位	健康	家族	22
3位	できる	生活	20
4位	気候	温暖	18
5位	幸せ	感じる	17
6位	子ども	成長	14
7位	健康	幸せ	13
8位	健康	生活	12
	家族	幸せ	12
9位	できる	自然	11
10位	出来る	生活	10
	家族	過ごす	10
	できる	仕事	10
	美しい	自然	10
	健康	日々	10
	多い	自然	10
	幸せ	思う	10
11位	仕事	健康	9
	健康	過ごす	9
	元気	家族	9
	できる	豊か	9

※日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることへの回答者数は 614 名（77.2%）



〔30年度〕 日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることのワードクラウド

〔共起回数 上位〕



	単語1	単語2	共起回数
1位	自然	豊か	26
	出来る	生活	26
2位	健康	家族	20
3位	幸せ	感じる	15
4位	感じる	自然	10
5位	出来る	奄美	8
	美味しい	食べる	8
6位	奄美	自然	7
	健康	幸せ	7
	恵まれる	自然	7
	健康	過ごす	7
	仕事	出来る	7
7位	出来る	家族	6
	健康	感じる	6
	自然	身近	6
	幸せ	生活	6
	家族	笑顔	6
	家族	過ごす	6
	残る	自然	6
	健康	出来る	6
	元気	過ごす	6
	健康	生活	6
	奄美	生活	6
	友人	家族	6
	毎日	過ごす	6

※日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることへの回答者数は 468 名（70.2%）

〔スコア 上位の比較〕

29年度

順位	単語	スコア	出現頻度
1位	自然	158.67	117
2位	子ども	87.23	81
3位	豊か	81.92	54
4位	家族	67.84	80
5位	気候	63.46	30
6位	過ごす	60.16	33
7位	健康	29.94	79
8位	生活	29.58	54
9位	幸せ	18.04	50
10位	奄美	14.00	20



30年度

順位	単語	スコア	出現頻度
1位	自然	96.66	87
2位	過ごす	46.40	28
3位	家族	32.52	53
4位	豊か	27.30	28
5位	奄美	25.90	37
6位	生活	20.96	49
7位	健康	12.55	50
8位	子ども	11.97	43
9位	温かい	11.71	13
10位	きれい	10.92	64

3. 奄美幸福度指数

(1) 奄美幸福度 DI

DI (Diffusion Index) は、企業や業界の景況感等を数値化した指標で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」(日銀短観)などで用いられるものである。

各単純集計結果の「分からない」及び無回答を除いた回答数を求めた上で、『そう思う(「大いにそう思う」と「まあまあそう思う」の合計)』の構成比から、『そう思わない(「あまりそう思わない」と「全く思わない」の合計)』の構成比を引いて奄美幸福度 DI として指標化すると、以下のとおりとなった。全てにおいてプラスであり、特に「おもてなし意向度」と「愛着度」はそれぞれ+76、+75 と他に比べ高くなっている一方、「医療・福祉環境の満足度」は+8 と、プラス圏内にあるものの他項目に比べ大幅に低くなっている。

〔「分からない」及び無回答を除く回答数の構成比(%)と奄美幸福度 DI〕

	『そう思う』			どちらとも言えない	『思わない』			奄美幸福度DI
		大いに そう思う	まあまあ そう思う			あまり そう思わない	全く 思わない	
生活の満足度	48	18	30	38	14	9	5	+ 34
将来への希望度	41	17	24	34	25	17	8	+ 16
結い度	65	34	31	23	12	8	3	+ 53
愛着度	81	57	24	13	6	4	2	+ 75
教育環境の満足度	62	30	32	27	11	7	4	+ 51
医療・福祉環境の満足度	36	12	24	36	28	18	10	+ 8
地産地消度	67	38	29	23	10	7	3	+ 57
招待意向度	65	31	33	24	11	6	5	+ 54
おもてなし意向度	81	55	26	14	5	3	2	+ 76
永住希望度	73	52	22	18	9	4	5	+ 64

なお、28、29 年度との比較をみると、「生活の満足度」、「愛着度」、「医療・福祉環境の満足度」、「招待意向度」、「永住希望度」は上昇している一方、「将来への希望度」、「教育環境の満足度」、「おもてなし意向度」は低下している。

〔奄美幸福度 DI の 28、29 年度との比較〕

	奄美幸福度DI		
	28年度	29年度	30年度
生活の満足度	+ 26	↑ 3 + 29	↑ 5 + 34
将来への希望度	+ 15	↑ 7 + 22	↓ -6 + 16
結い度	+ 53	0 + 53	0 + 53
愛着度	+ 72	↑ 2 + 74	↑ 1 + 75
教育環境の満足度	+ 52	↑ 2 + 54	↓ -3 + 51
医療・福祉環境の満足度	+ 1	↑ 4 + 5	↑ 3 + 8
地産地消度	+ 63	↓ -6 + 57	0 + 57
招待意向度	+ 49	↑ 2 + 51	↑ 3 + 54
おもてなし意向度	+ 78	0 + 78	↓ -2 + 76
永住希望度	+ 63	0 + 63	↑ 1 + 64

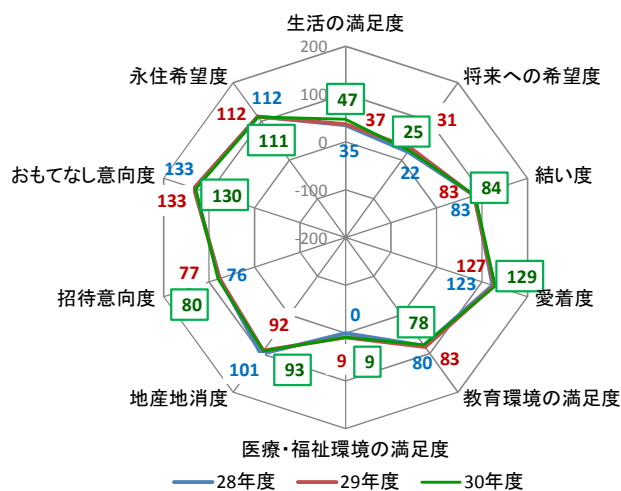
(2) レーダーチャート

各単純集計結果の「分からない」及び無回答を除いた回答数を求めた上で、それぞれの構成比に、「大いにそう思う」は+2点、「まあまあそう思う」は+1点、「どちらとも言えない」は0点、「あまりそう思わない」は-1点、「全く思わない」は-2点と点数化し、レーダーチャートで示すと下図のとおりである。

最高点 200 点、最低点が-200 点であるうち、「おもてなし意向度」が 130 点と最も高得点で、次いで「愛着度」が 129 点、「永住希望度」が 111 点等となっている。

なお、28、29 年度との比較について、29 年度から 5 点以上変動しているのは、「生活の満足度」が 28 年度から 35 点→37 点→47 点と上昇している一方、「将来への希望度」は 22 点→31 点→25 点と、「教育環境の満足度」は 80 点→83 点→78 点と、それぞれ 29 年度から低下している。

〔奄美幸福度のレーダーチャート〕



4. 平成 28、29 年度との比較

各項目について、平成 28、29 年度の単純集計結果との比較を行った。なお、平成 28、29 年度は調査対象者を 18 歳以上としていたが、今回の調査（平成 30 年度）より 15 歳以上としており、平成 28、29 年度の 18～19 歳と平成 30 年度の 15～19 歳を、便宜的に同じ 10 歳代として比較をしているが、より若年者の意向が強くなっているものと推量される。

(1) 生活の満足度／あなたは日常生活に対して満足していますか？

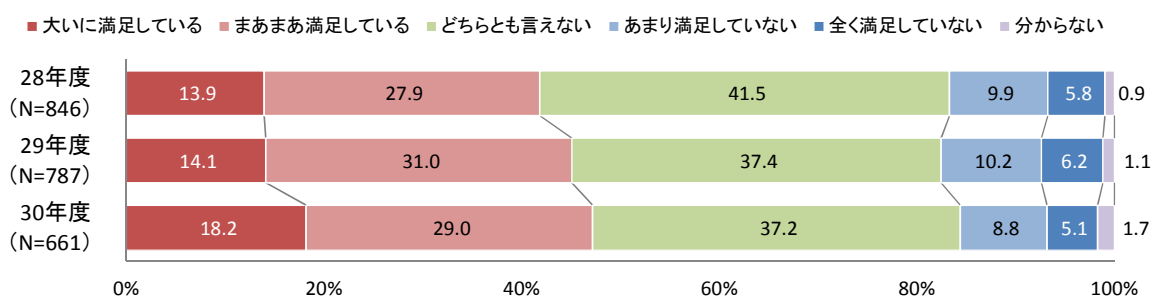
日常生活に対して満足しているか（生活の満足度）について、平成 30 年度は平成 29 年度から「大いに満足している」が 4.1 ポイント増加し、『満足している』が 2.1 ポイント増加、『満足していない』が 2.5 ポイント減少している。

なお、平成 28 年度と比較すると、『満足している』が 5.4 ポイント増加、『満足していない』が 1.8 ポイントの減少となっている。

平成 29 年度から 10 ポイント以上増減しているのは、年代別では 20 歳代の「大いに満足している」が増加、70 歳代の「まあまあ満足している」が減少、80 歳以上の「まあまあ満足している」が増加、「どちらとも言えない」が減少、居住地区別では笠利地区の「まあまあ満足している」が減少、「どちらとも言えない」が増加している。

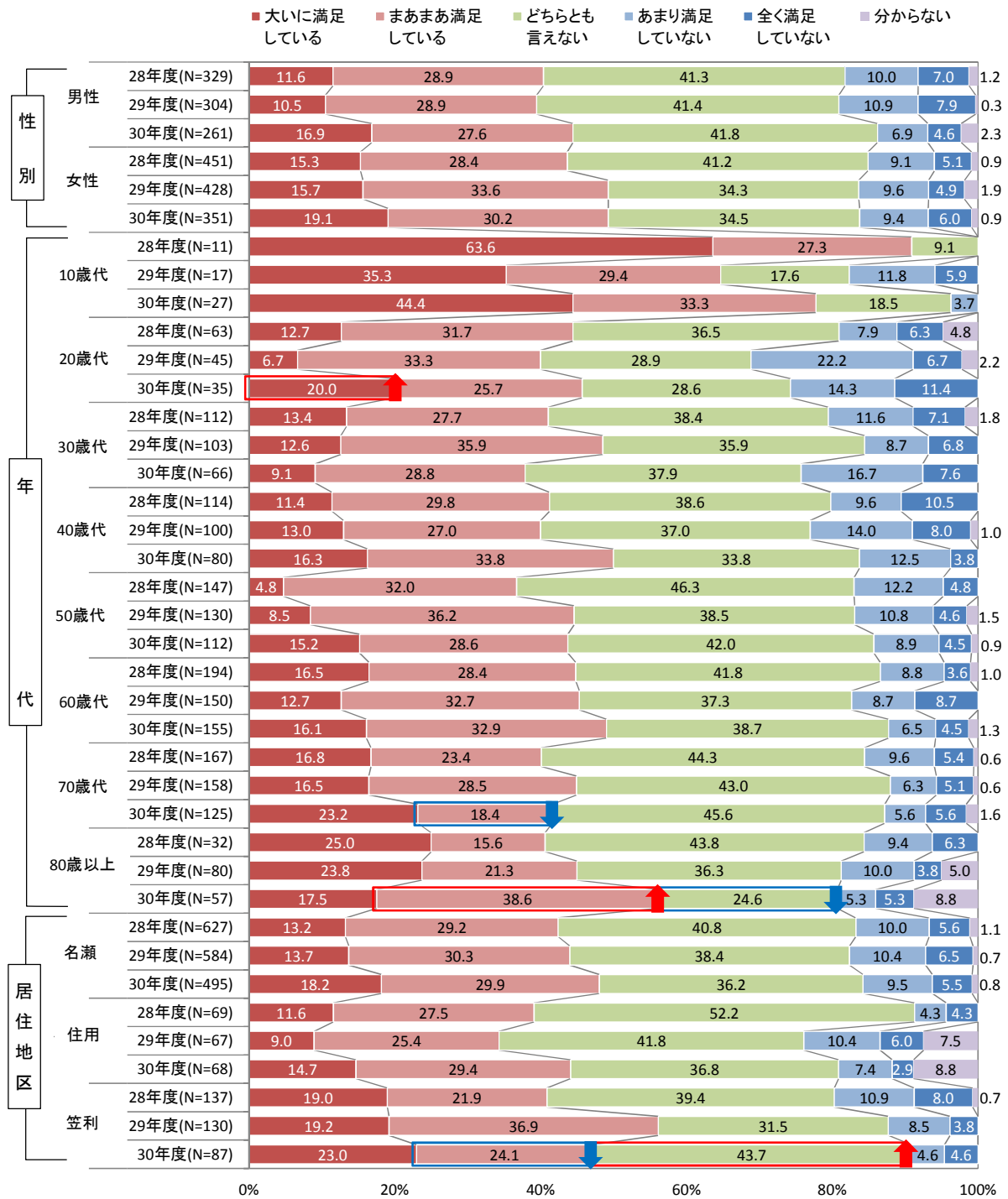
なお、平成 28 年度と比較すると、年代別では 10 歳代の「大いに満足している」が減少、50 歳代の「大いに満足している」が増加、80 歳以上の「まあまあ満足している」が増加、「どちらとも言えない」が増加、「どちらとも言えない」が減少、居住地区別では住用の「どちらとも言えない」が減少となっている。

〔生活の満足度／あなたは日常生活に対して満足していますか？ 経年比較〕



※無回答を除く、以下同様。

〔生活の満足度／あなたは日常生活に対して満足していますか？ 属性別経年比較〕



※無回答を除く、以下同様。

※29年度から10ポイント以上増減した30年度の項目には ↑(10P以上増加) ↓(10P以上減少) を表記している。以下同様。

(2) 将来への希望度／あなたは将来に希望を持っていますか？

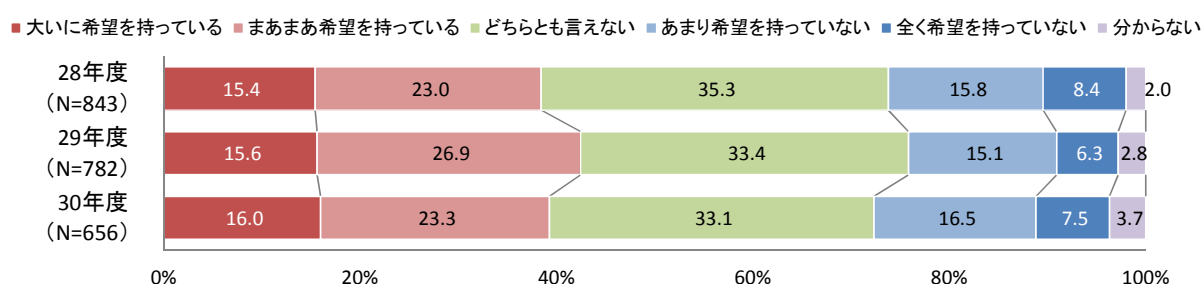
将来に希望を持っているか（将来への希望度）について、平成30年度は平成29年度から「まあまあ希望を持っている」が3.6ポイント減少し、『希望を持っている』が3.2ポイント減少、『希望を持っていない』が2.6ポイント増加している。

なお、平成28年度と比較すると、『希望を持っている』が0.9ポイント増加、『希望を持っていない』が0.2ポイント減少となっている。

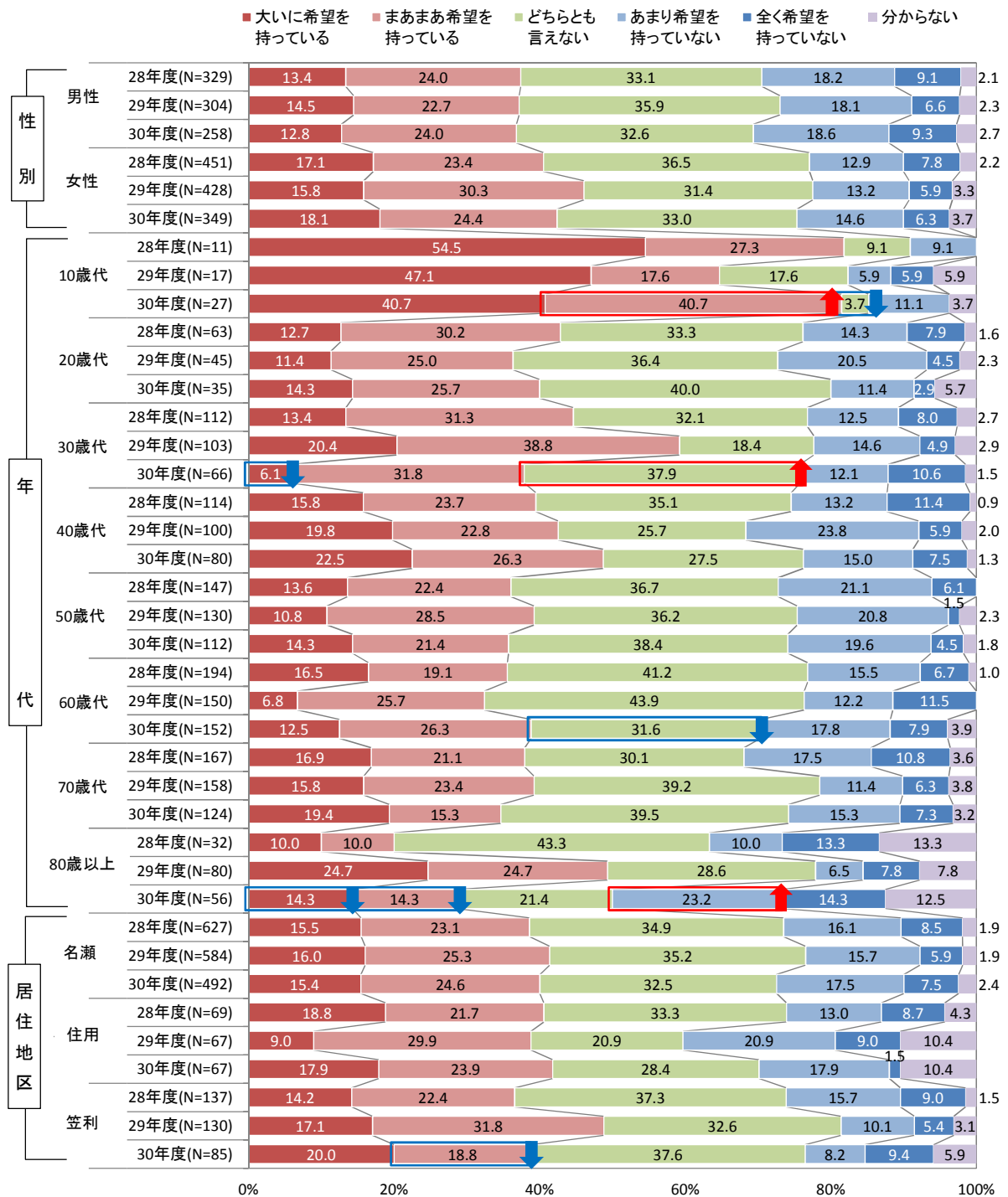
平成29年度から10ポイント以上増減しているのは、年代別では10歳代の「まあまあ希望を持っている」が増加、「どちらとも言えない」が減少、30歳代の「大いに希望を持っている」が減少、「どちらとも言えない」が増加、60歳代の「どちらとも言えない」が減少、80歳以上の「大いに希望を持っている」と「まあまあ希望を持っている」が減少、「あまり希望を持っていない」が増加、居住地区別では、笠原の「まあまあ希望を持っている」が減少している。

なお、平成28年度と比較すると、年代別では10歳代の「大いに希望を持っている」が減少、「まあまあ希望を持っている」が増加、80歳以上の「どちらとも言えない」が減少、「あまり希望を持っていない」が増加となっている。

〔将来への希望度／あなたは将来に希望を持っていますか？ 経年比較〕



〔将来への希望度／あなたは将来に希望を持っていますか？ 属性別経年比較〕



(3) 結い度／あなたが困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいますか？

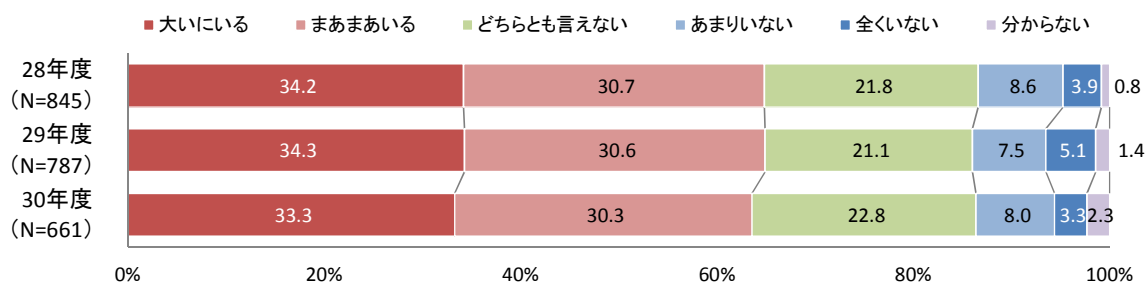
困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいるか（結い度）について、平成 30 年度は平成 29 年度から『いる』が 1.3 ポイント減少、『いない』が 1.3 ポイント減少と、3 ポイント以上の大きな変化は見られなかった。

なお、平成 28 年度と比較すると、『いる』が 1.3 ポイント減少、『いない』が 1.2 ポイント減少となっている。

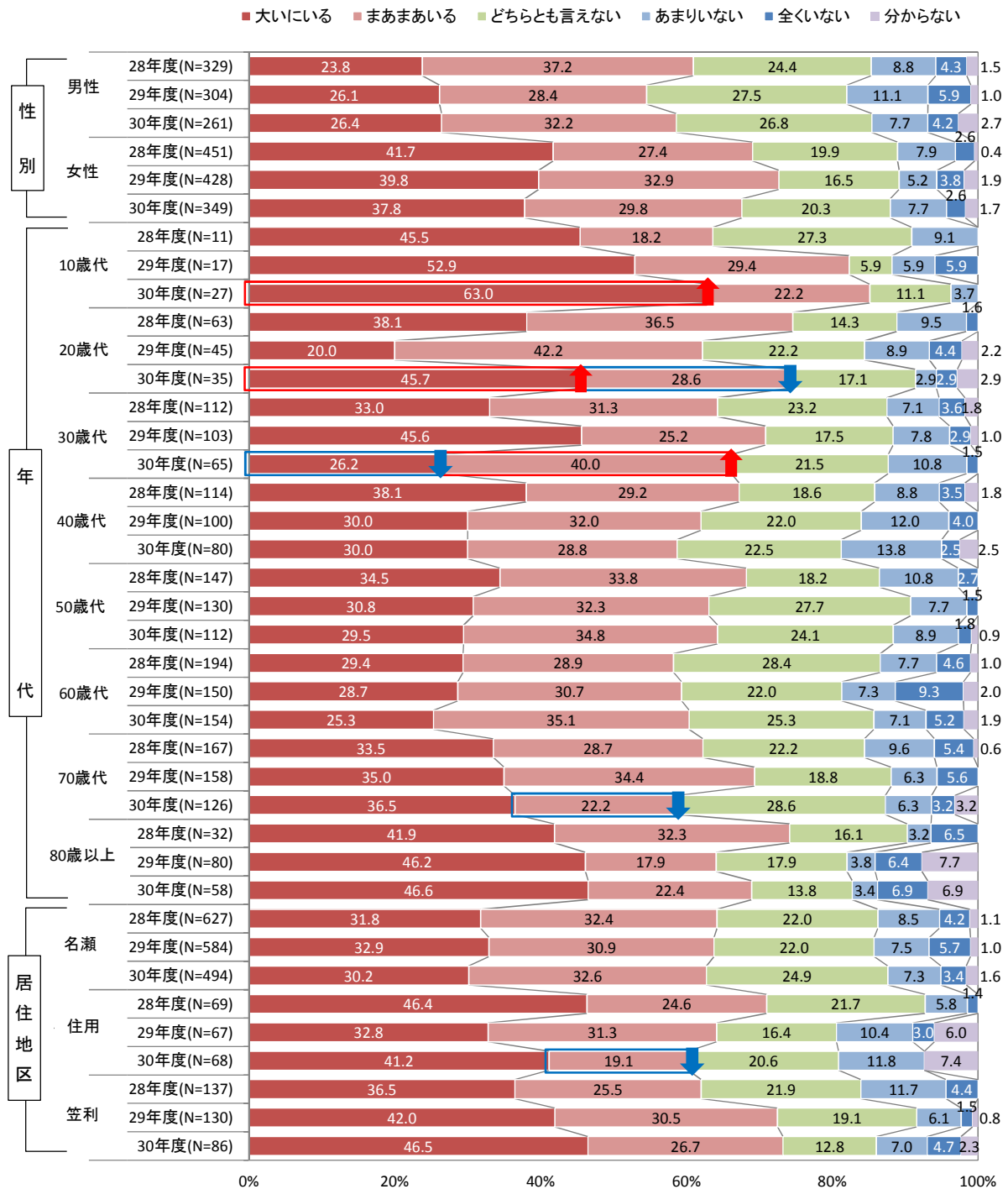
平成 29 年度から 10 ポイント以上増減しているのは、年代別では 10 歳代の「大いにいる」が増加、20 歳代の「大いにいる」が増加、「まあまあいる」が減少、30 歳代の「大いにいる」が減少、「まあまあいる」が増加、70 歳代の「まあまあいる」が減少、居住地区別では住用の「まあまあいる」が減少している。

なお、平成 28 年度と比較すると、年代別では 10 歳代の「大いにいる」が増加、「どちらとも言えない」が減少、居住地区別では笠利の「大いにいる」が増加となっている。

〔結い度／あなたが困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいますか？ 経年比較〕



〔結い度／あなたが困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいますか？ 属性別経年比較〕



(4) 愛着度／あなたは奄美が好きですか？

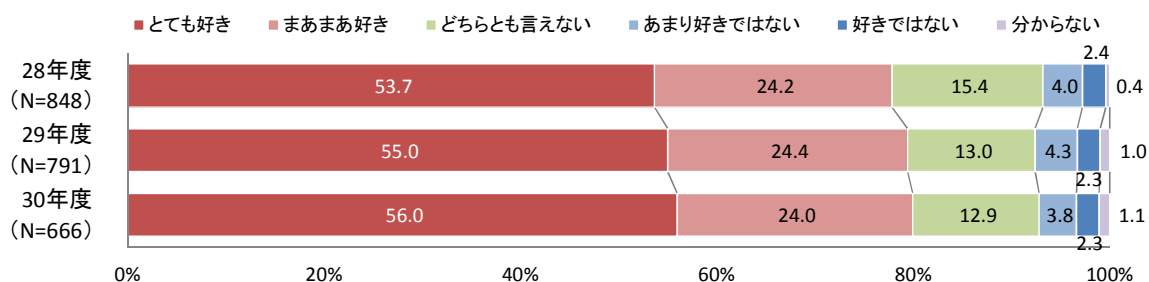
奄美が好きか（愛着度）について、平成 30 年度は平成 29 年度から『好き』が 0.6 ポイント増加、『好きではない』が 0.5 ポイント減少と、3 ポイント以上の大きな変化は見られなかった。

なお、平成 28 年度と比較すると、『好き』が 2.1 ポイント増加、『好きではない』が 0.3 ポイント減少となっている。

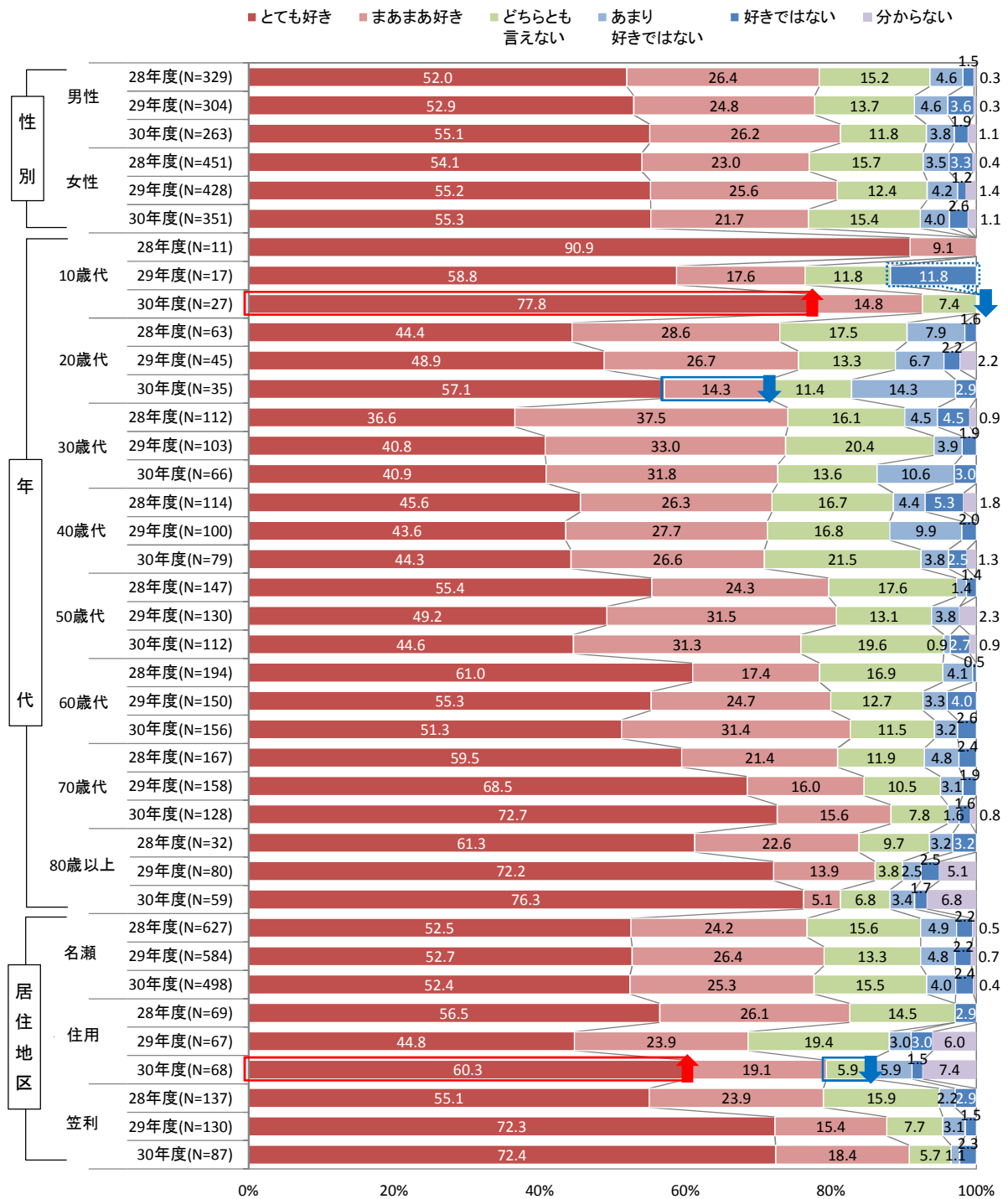
平成 29 年度から 10 ポイント以上増減しているのは、年代別では 10 歳代の「とても好き」が増加、「好きではない」が減少、20 歳代の「まあまあ好き」が減少、居住地区別では住用の「とても好き」が増加、「どちらとも言えない」が減少している。

なお、平成 28 年度と比較すると、年代別では 10 歳代の「とても好き」が減少、20 歳代の「とても好き」が増加、「まあまあ好き」が減少、50 歳代の「とても好き」が減少、60 歳代の「まあまあ好き」が増加、70 歳代の「とても好き」が増加、80 歳以上の「とても好き」が増加、「まあまあ好き」が減少、居住地区別では笠利の「とても好き」が増加、「どちらとも言えない」が減少となっている。

〔愛着度／あなたは奄美が好きですか？ 経年比較〕



〔愛着度／あなたは奄美が好きですか？ 属性別経年比較〕



(5) 教育環境の満足度／奄美は、子どもがいきいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思いますか？

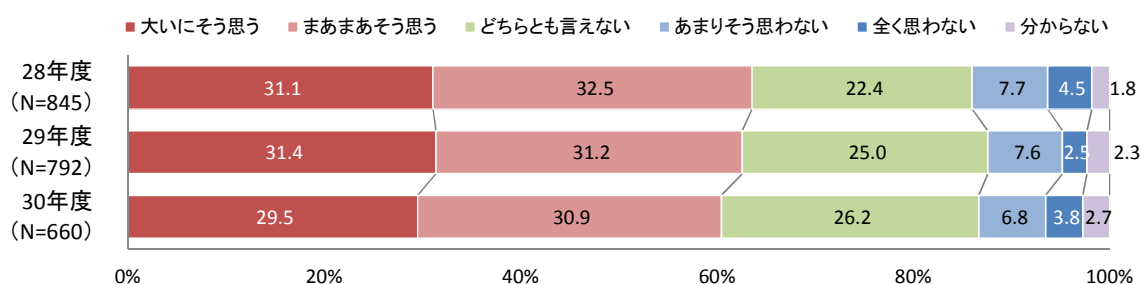
子どもがいきいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思うか（教育環境の満足度）について、平成 30 年度は平成 29 年度から『そう思う』が 2.2 ポイント減少、『そう思わない』が 0.5 ポイント増加と、3 ポイント以上の大きな変化は見られなかった。

なお、平成 28 年度と比較すると、「どちらとも言えない」が 3.8 ポイント増加し、『そう思う』が 3.2 ポイント減少、『そう思わない』が 1.6 ポイント減少となっている。

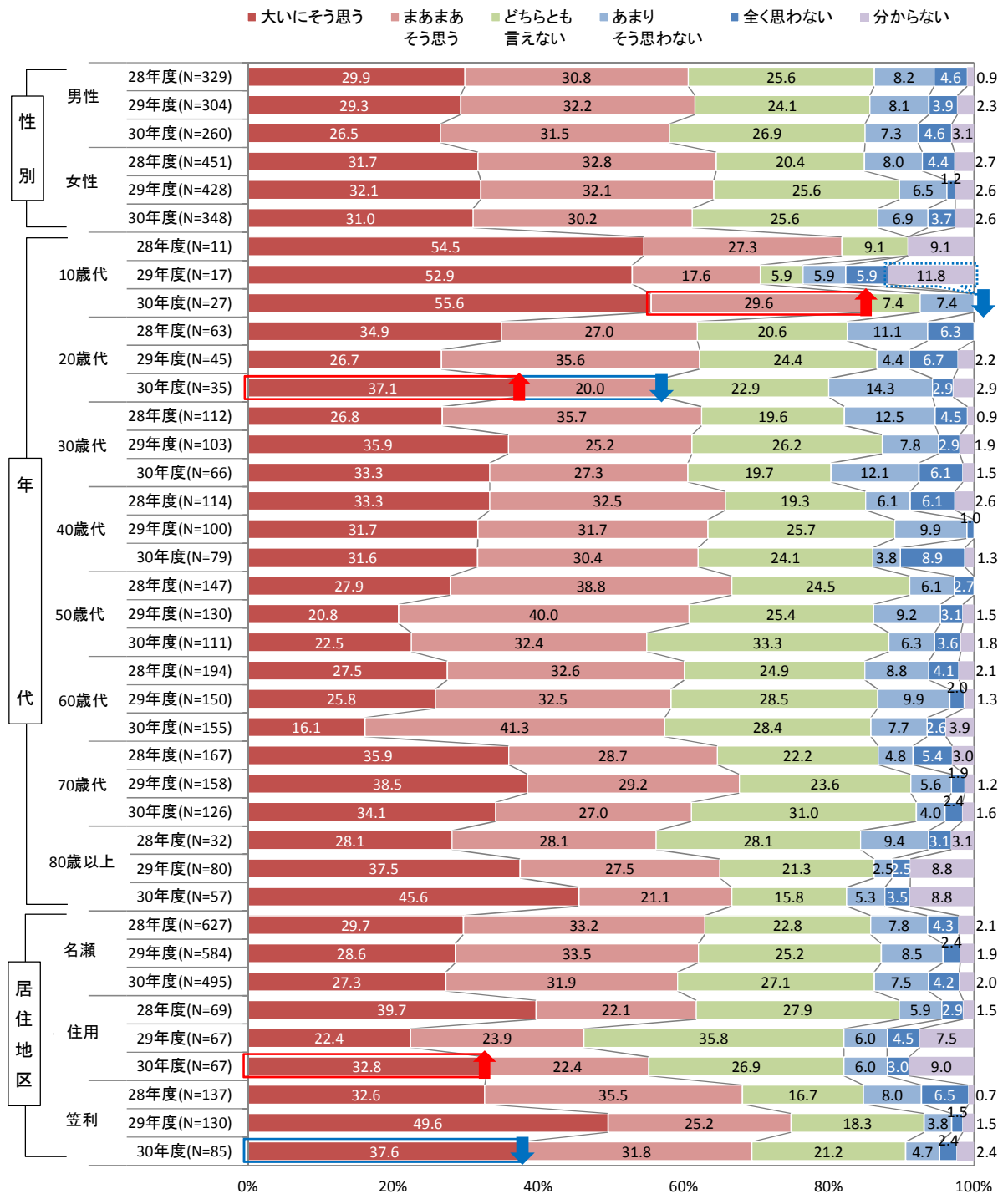
平成 29 年度から 10 ポイント以上増減しているのは、年代別では 10 歳代の「まあまあそう思う」が増加、「分からない」が減少、20 歳代の「大いにそう思う」が増加、「まあまあそう思う」が減少、居住地区別では住用の「大いにそう思う」が増加、笠利の「大いにそう思う」が減少している。

なお、平成 28 年度と比較すると、年代別では 60 歳代の「大いにそう思う」が減少、80 歳以上の「大いにそう思う」が増加、「どちらとも言えない」が減少となっている。

〔教育環境の満足度／奄美は、子どもがいきいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思いますか？ 経年比較〕



〔教育環境の満足度／奄美は、子どもがいまいと健やかに、心豊かに育つ島であると思いますか？ 属性別経年比較〕



(6) 医療・福祉環境の満足度／奄美は、高齢者がかかる医療機関や福祉が充実していると思いますか？

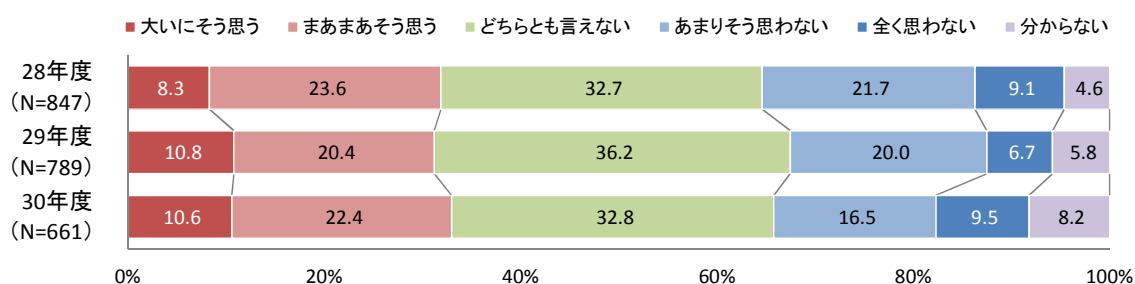
高齢者がかかる医療機関や福祉が充実していると思うか（医療・福祉環境の満足度）について、平成30年度は平成29年度から「どちらとも言えない」と「あまりそう思わない」がそれぞれ3.4ポイント、3.5ポイント減少し、『そう思う』が1.8ポイント増加、『そう思わない』が0.7ポイント減少している。

なお、平成28年度と比較すると、「あまりそう思わない」が5.2ポイント減少、「分からない」が3.6ポイント増加し、『そう思う』が1.1ポイント増加、『そう思わない』が4.8ポイント減少となっている。

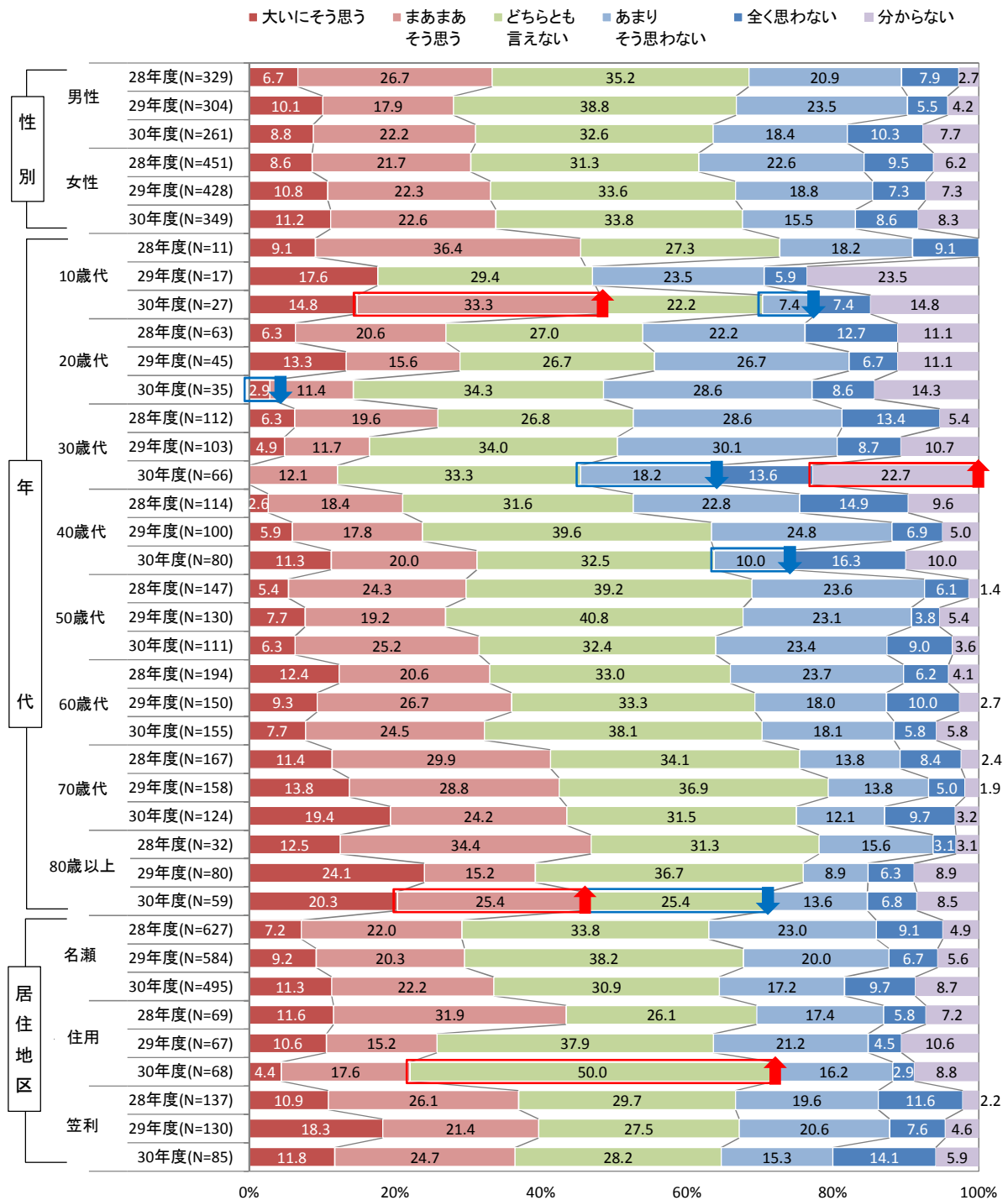
平成29年度から10ポイント以上増減しているのは、年代別では10歳代の「まあまあそう思う」が増加、「あまりそう思わない」が減少、20歳代の「大いにそう思う」が減少、30歳代の「あまりそう思わない」が減少、「分からない」が増加、40歳代の「あまりそう思わない」が減少、80歳以上の「まあまあそう思う」が増加、「どちらとも言えない」が減少、居住地区別では住用の「どちらとも言えない」が増加している。

なお、平成28年度と比較すると、年代別では10歳代の「あまりそう思わない」が減少、「分からない」が増加、30歳代の「あまりそう思わない」が減少、「分からない」が増加、40歳代の「あまりそう思わない」が減少、居住地区別では住用の「まあまあそう思う」が減少、「どちらとも言えない」が増加となっている。

〔医療・福祉環境の満足度／奄美は、高齢者がかかる医療機関や福祉が充実していると思いますか？ 経年比較〕



〔医療・福祉環境の満足度／奄美は、高齢者がかかる医療機関や福祉が充実していると思いますか？ 属性別経年比較〕



(7) 地産地消度／あなたは地元産の食材を食べた時に幸せだと思えますか？

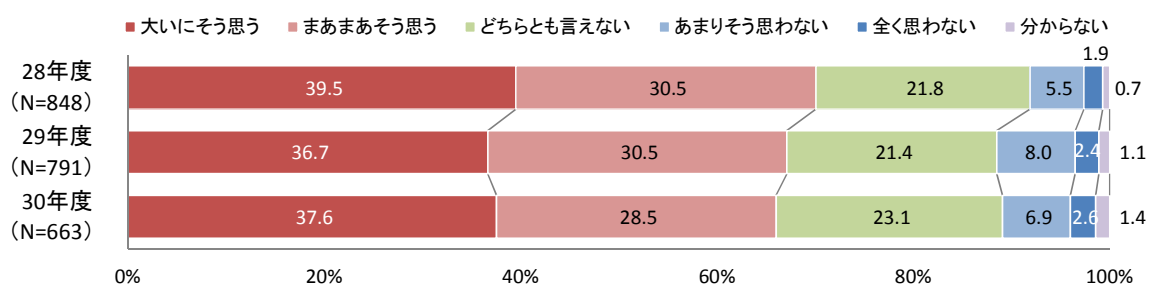
地元産の食材を食べた時に幸せだと思えるか（地産地消度）について、平成 30 年度は平成 29 年度から、『そう思う』が 1.1 ポイント減少、『そう思わない』が 0.9 ポイント減少と、3 ポイント以上の大きな変化は見られなかった。

なお、平成 28 年度と比較すると、『そう思う』が 3.9 ポイント減少、『そう思わない』が 2.1 ポイント増加となっている。

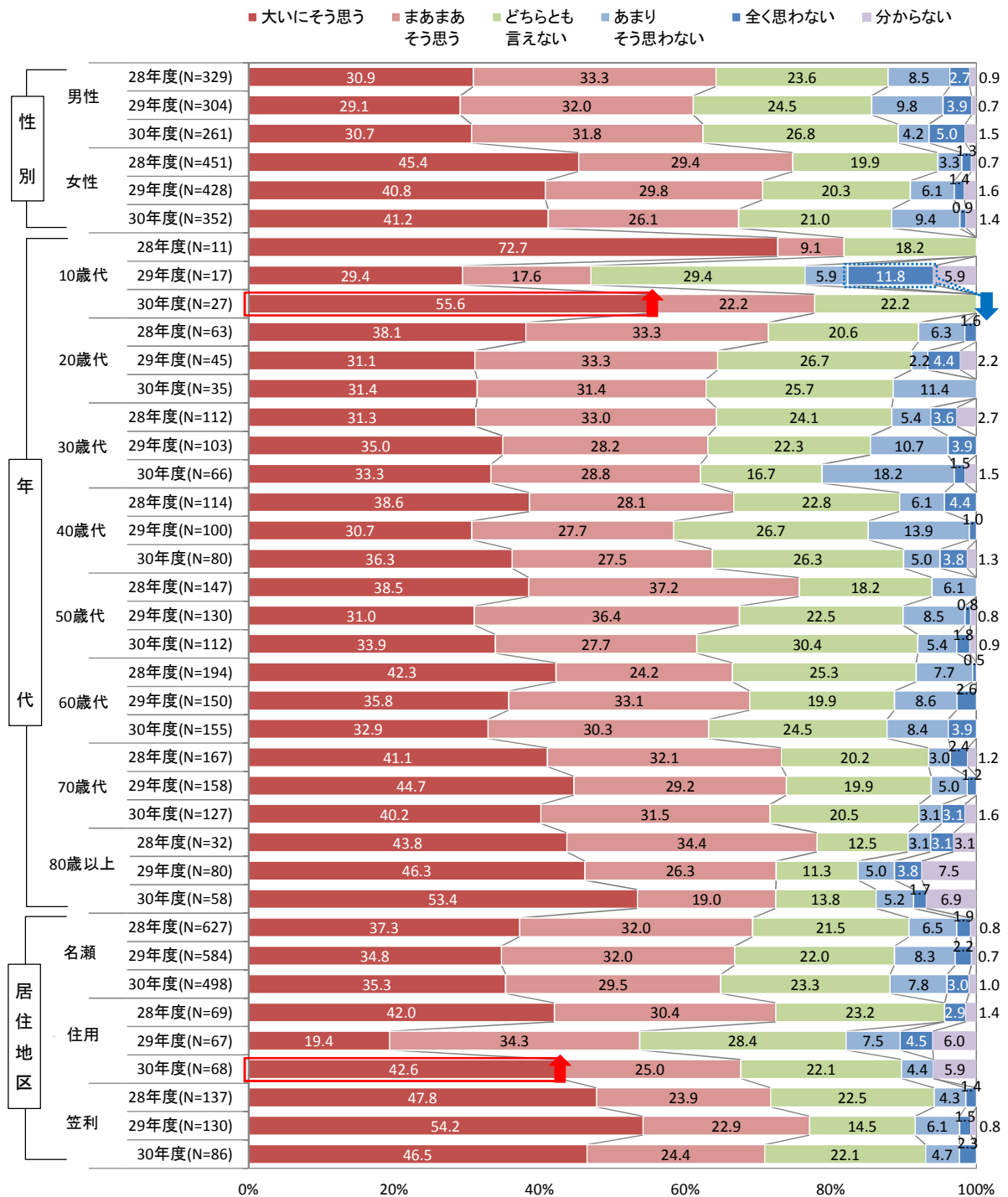
平成 29 年度から 10 ポイント以上増減しているのは、年代別では 10 歳代の「大いにそう思う」が増加、「全く思わない」が減少、居住地区別では住用の「大いにそう思う」が増加している。

なお、平成 28 年度と比較すると、年代別では 10 歳代の「大いにそう思う」が減少、「まあまあそう思う」が増加、30 歳代の「あまりそう思わない」が増加、50 歳代の「どちらとも言えない」が増加、80 歳以上の「まあまあそう思う」が減少となっている。

〔地産地消度／あなたは地元産の食材を食べた時に幸せだと思えますか？ 経年比較〕



〔地産地消度／あなたは地元産の食材を食べた時に幸せだと思えますか？ 属性別経年比較〕



(8) 招待意向度／あなたは奄美に友人・知人を呼びたいと思いますか？

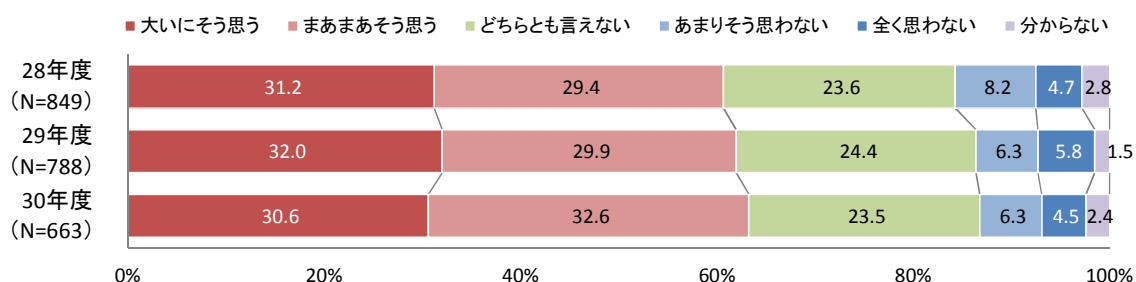
奄美に友人・知人を呼びたいと思うか（招待意向度）について、平成30年度は平成29年度から、『そう思う』が1.3ポイント増加、『そう思わない』が1.3ポイント減少と、3ポイント以上の大きな変化は見られなかった。

なお、平成28年度と比較すると、「まあまあそう思う」が3.2ポイント増加し、『そう思う』が2.6ポイント増加、『そう思わない』が2.1ポイントの減少となっている。

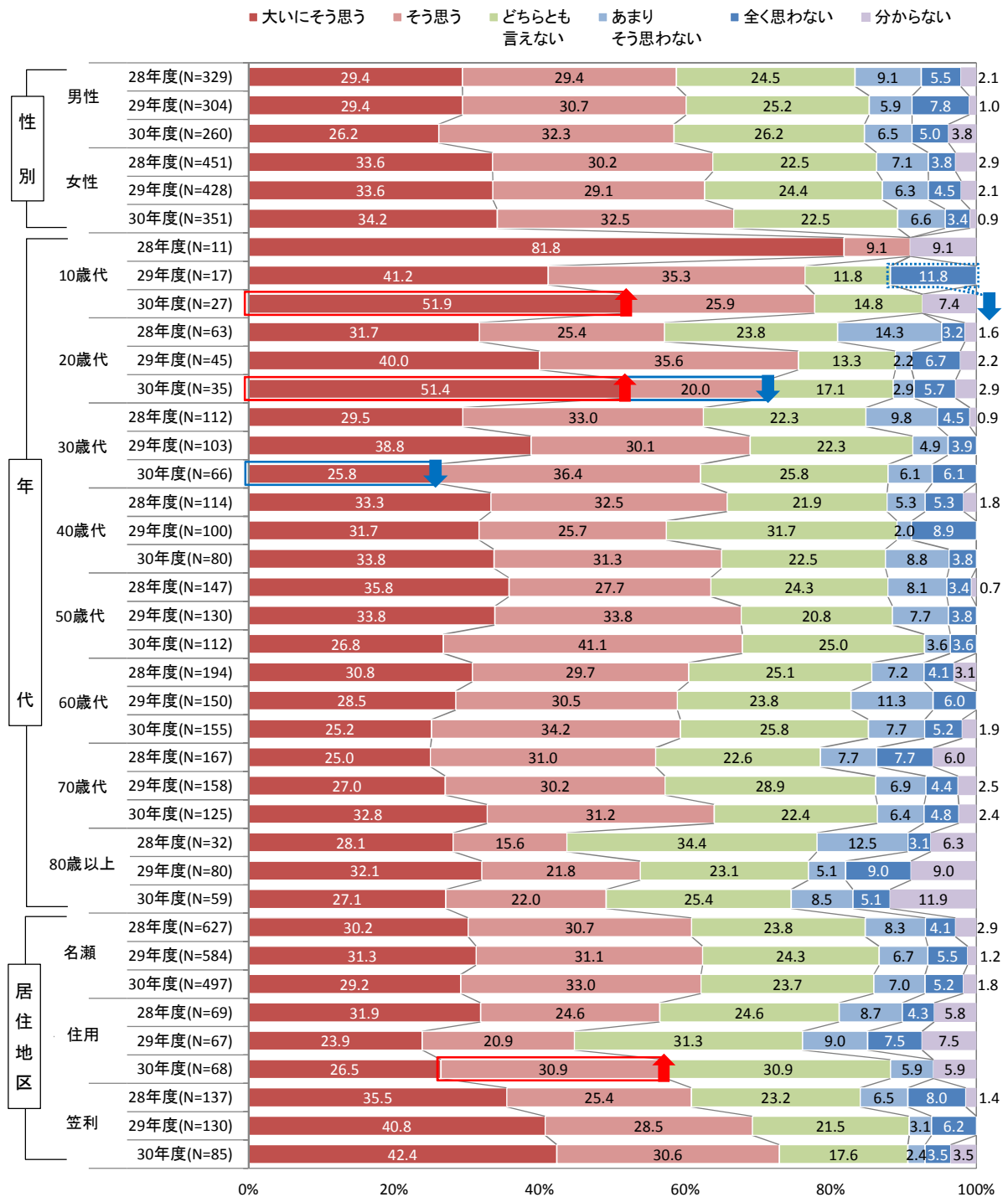
平成29年度から10ポイント以上増減しているのは、年代別では10歳代の「大いにそう思う」が増加、「全く思わない」が減少、20歳代の「大いにそう思う」が増加、「まあまあそう思う」が減少、30歳代の「大いにそう思う」が減少、居住地区別では住用の「まあまあそう思う」が増加している。

なお、平成28年度と比較すると、年代別では10歳代の「大いにそう思う」が減少、「まあまあそう思う」と「どちらとも言えない」が増加、20歳代の「大いにそう思う」が増加、「あまりそう思わない」が減少、50歳代の「まあまあそう思う」が増加となっている。

〔招待意向度／あなたは奄美に友人・知人を呼びたいと思いますか？ 経年比較〕



〔招待意向度／あなたは奄美に友人・知人を呼びたいと思いますか？ 属性別経年比較〕



(9) おもてなし意向度／あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？

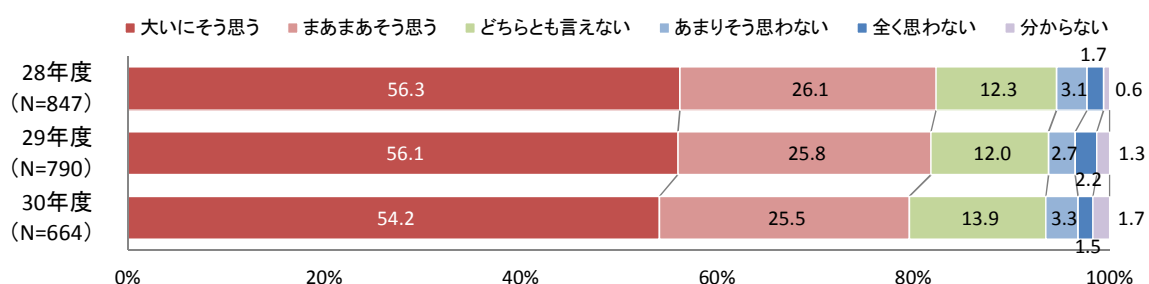
島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいか（おもてなし意向度）について、平成 30 年度は平成 29 年度から、『そう思う』が 2.2 ポイント減少、『そう思わない』が 0.1 ポイント減少と、3 ポイント以上の大きな変化は見られなかった。

なお、平成 28 年度と比較すると、『そう思う』が 2.7 ポイント減少、『そう思わない』が増減なしとなっている。

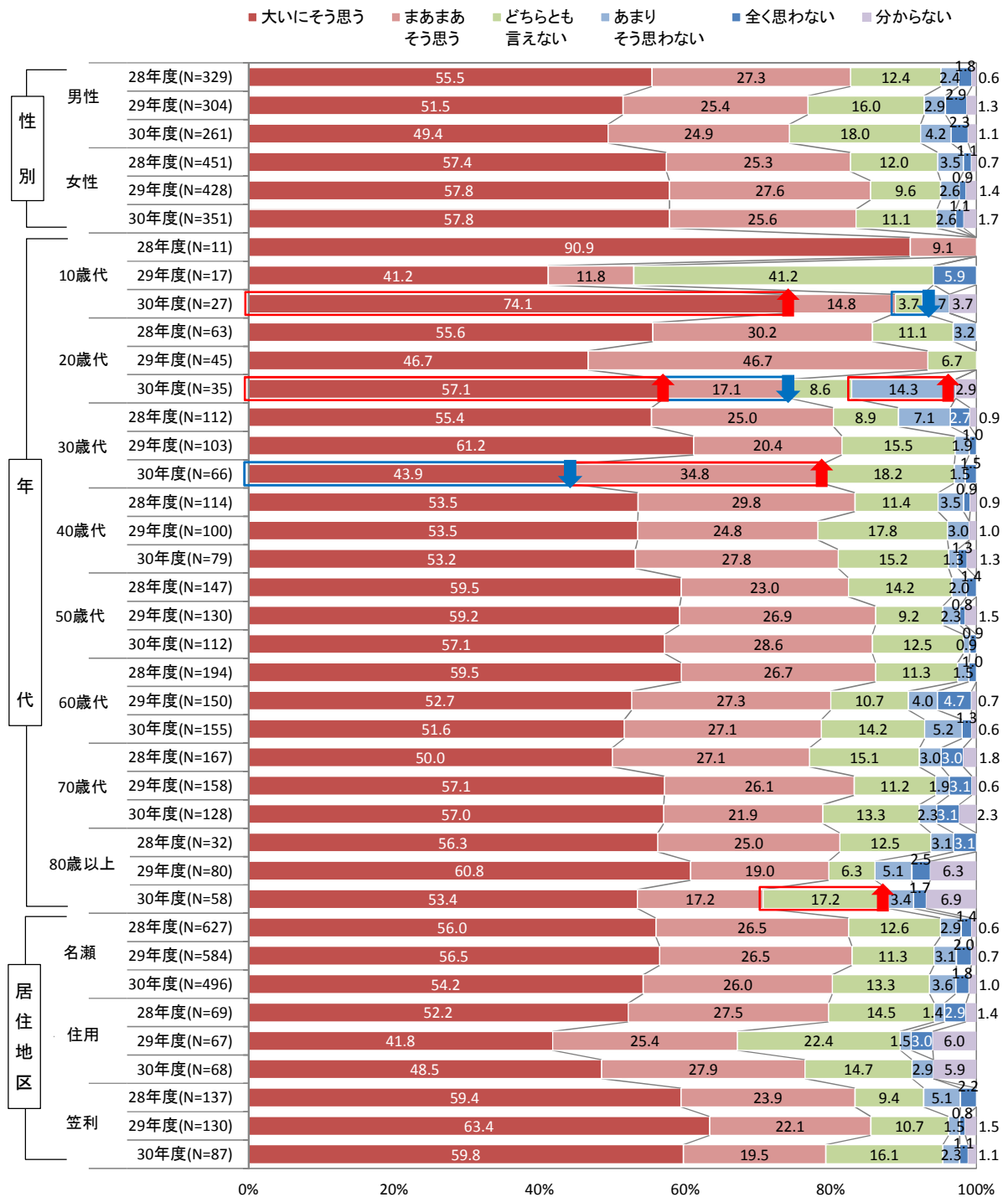
平成 29 年度から 10 ポイント以上増減しているのは、年代別では 10 歳代の「大いにそう思う」が増加、「どちらとも言えない」が減少、20 歳代の「大いにそう思う」と「あまりそう思わない」が増加、「まあまあそう思う」が減少、30 歳代の「大いにそう思う」が減少、「まあまあそう思う」が増加、80 歳以上の「どちらとも言えない」が増加している。

なお、平成 28 年度と比較すると、年代別では 10 歳代の「大いにそう思う」が減少、20 歳代の「まあまあそう思う」が減少、「あまりそう思わない」が増加、30 歳代の「大いにそう思う」が減少となっている。

〔おもてなし意向度／あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？ 経年比較〕



〔おもてなし意向度／あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？ 属性別経年比較〕



(10) 永住希望度／あなたは奄美に今後も住みたいですか？

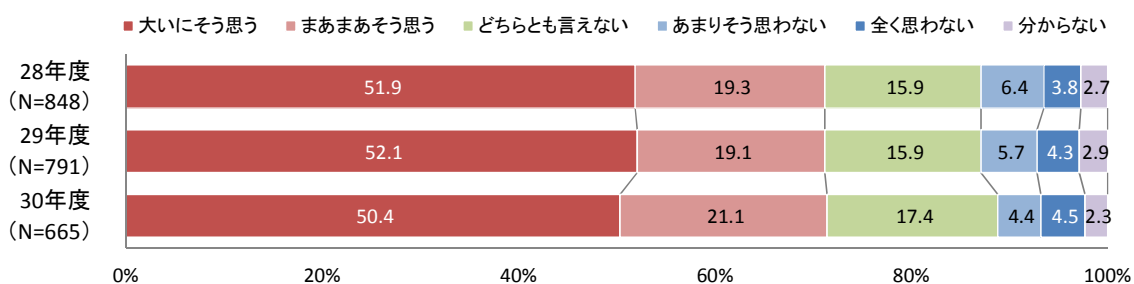
奄美に今後も住みたいか（永住希望度）について、平成 30 年度は平成 29 年度から、『そう思う』が 0.3 ポイント増加、『そう思わない』が 1.1 ポイント減少と、3 ポイント以上の大きな変化は見られなかった。

なお、平成 28 年度と比較すると、『そう思う』が 0.3 ポイント増加、『そう思わない』が 1.3 ポイント減少となっている。

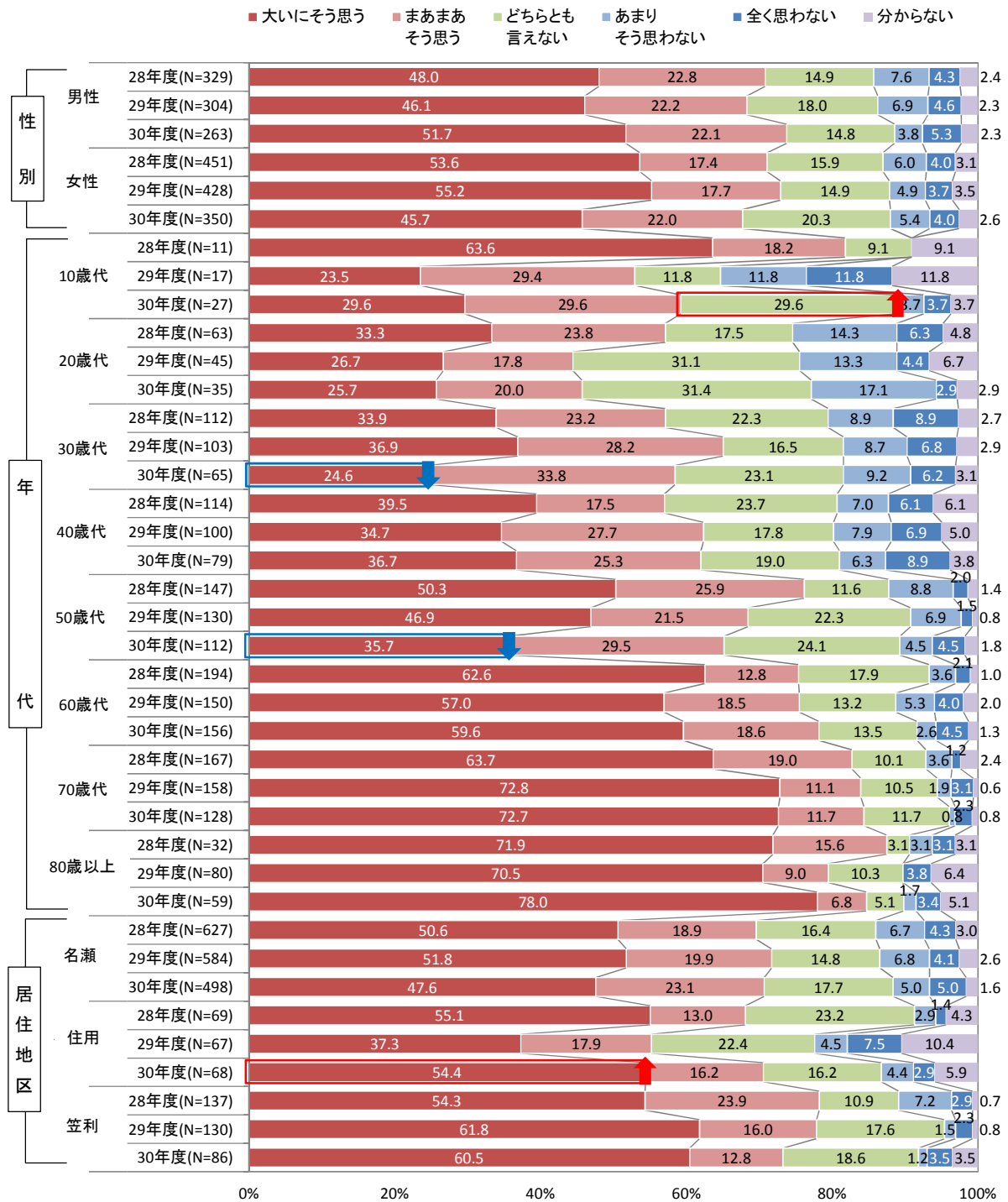
平成 29 年度から 10 ポイント以上増減しているのは、年代別では 10 歳代の「どちらとも言えない」が増加、30 歳代の「大いにそう思う」が減少、50 歳代の「大いにそう思う」が減少、居住地区別では住用の「大いにそう思う」が増加している。

なお、平成 28 年度と比較すると、年代別では 10 歳代の「大いにそう思う」が減少、「まあまあそう思う」と「どちらとも言えない」が増加、20 歳代の「どちらとも言えない」が増加、30 歳代の「まあまあそう思う」が増加、50 歳代の「大いにそう思う」が減少、「どちらとも言えない」が増加、居住地区別では笠利の「まあまあそう思う」が減少となっている。

〔永住希望度／あなたは奄美に今後も住みたいですか？ 経年比較〕



〔永住希望度／あなたは奄美に今後も住み続けたいですか？ 属性別経年比較〕



参考資料

アンケート調査票



奄美幸福度調査アンケート



問1 あなたの実感に最も近い番号に1つ〇をつけて下さい。

項目	まったく 思わない 大いに 思う					分から ない
	1	2	3	4	5	
あなたは日常生活に対して満足していますか？	1	2	3	4	5	0
あなたは将来に希望を持っていますか？	1	2	3	4	5	0
あなたが困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいますか？	1	2	3	4	5	0
あなたは奄美が好きですか？	1	2	3	4	5	0
奄美は、子どもがいぎいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思いますか？	1	2	3	4	5	0
奄美は、高齢者がかかる医療機関や福祉が充実していると思いますか？	1	2	3	4	5	0
あなたは地元産の食材を食べた時に幸せだなと思いますか？	1	2	3	4	5	0
あなたは奄美に友人・知人を呼びたいと思いますか？	1	2	3	4	5	0
あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？	1	2	3	4	5	0
あなたは奄美に今後も住み続けたいですか？	1	2	3	4	5	0

問2 あなたが、日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？
また、日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？
自由にご記入ください。

「幸せ」または「満足」に感じること：
「不幸」または「不満」に感じること：

※あなたご自身のことについておうかがいします。

◎あなたの性別、年齢、居住地区をお答えください（各〇は1つ。）

性別	1. 男性	2. 女性		
年齢	1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代
	5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳代	8. 80歳代以上
居住地区	1. 名瀬	2. 住用	3. 笠利	

平成 30 年度奄美市幸福度調査アンケート
調査結果報告書

平成 30 年 9 月

実施主体／奄美市総務部企画調整課

〒894-8555 奄美市名瀬幸町 25 番 8 号

TEL 0997-52-1111 FAX 0997-52-1001

調査機関／株式会社九州経済研究所

〒892-0826 鹿児島市呉服町 3 番 10 号

TEL 099-225-7491 FAX 099-226-5975

<http://www.ker.co.jp>